福山市スポーツ施設再整備計画

２０２５年（令和７年）１２月

福 山 市

目 次

第１章 概要 1

１ 策定の目的 1

２ 位置付け 1

３ 期間 2

４ 本市を取り巻く状況 2

５ 対象施設の設定 3

第２章 基本方針 6

１ 基本的な考え方 6

２１次評価、２次評価の考え方 8

第３章 スポーツ施設の評価 9

１ スポーツ施設の現況評価（1 次評価） 9

２ スポーツ施設の環境評価（2 次評価） 15

第４章 個別施設計画 35

１ 適用可能な手法の選定（適用手法の検討） 35

２ 個別施設計画の取りまとめ 37

第５章 個別施設計画の実施方法 54

１ 推進・取組体制 54

２ 情報共有 54

３ フォローアップ 54

４ 財源確保 54

資料編 55

スポーツ施設の在り方等に関する市民の意見 55

第1章　概要

1 策定の目的

本市では、2017 年（平成 29 年）7 月に策定した「福山市スポーツ推進計画」に基づき、だれもが生涯にわたって身近にスポーツに親しむとともに、スポーツを通じたまちづくりを推進するために、スポーツに関する施策に取り組んでいます。また、2022 年（令和 4 年）6 月には中間評価を実施し、計画策定後の 5 年間の取組を検証し、社会情勢やスポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、着実なスポーツ振興施策が展開できるよう取組を進めています。

こうしたスポーツ活動を支える施設の在り方については、同計画において、既存スポーツ施設の大規模な改修や更新等に計画的に取り組むとともに、地域の活性化に向けたまちづくりの視点を持って再整備に取り組むこととしています。

これまで、スポーツ施設の在り方については、施設整備の現状を客観的に評価するとともに、新たな施設整備の必要性を含めて、全市的な在り方を示す「福山市社会体育施設基本計画」（以下「基本計画」という。）を 2013 年（平成 25 年）11 月、また、庭球場・水泳場について、施設の統廃合や機能の複合化等の再編の在り方を示す「福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）」（以下「再編方針」という。）を 2020 年（令和 2 年）2 月に策定しています。

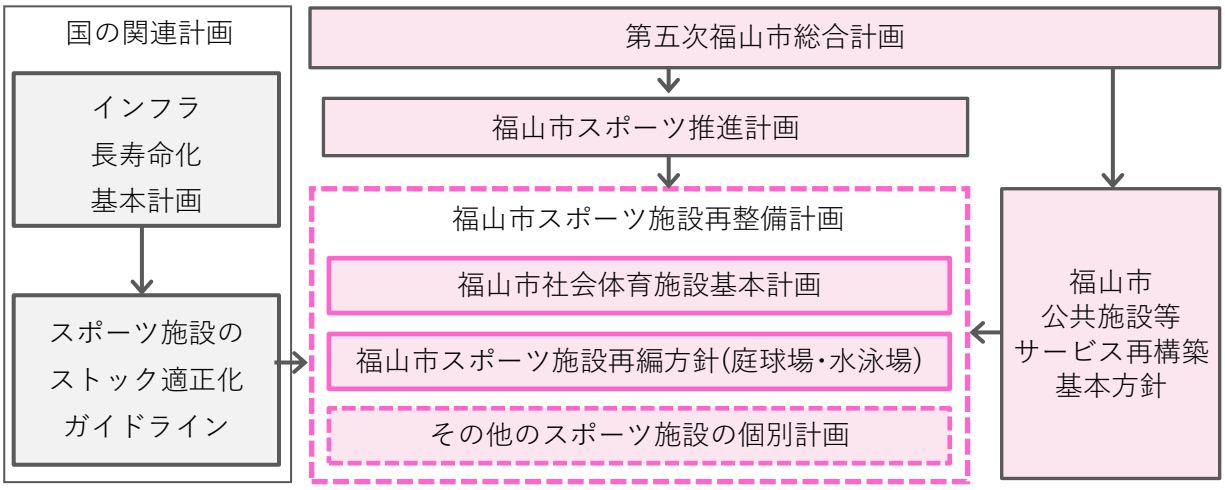
本市のスポーツ施設は、建築後 40 年以上を経過したものも多く、全体的に老朽化が進み、修繕が必要となっていること、また、基本計画を策定して、10 年が経過していることから、本市のスポーツ施設の在り方を改めて整理する必要があります。

こうしたことから、基本計画、再編方針を包含した「福山市スポーツ施設再整備計画」を策定し、多様化する市民ニーズや施設の老朽度等を踏まえ、だれもが身近にスポーツに親しめる施設環境の整備に向け、今後のスポーツ施設整備の方向性や整備方針を施設種別ごとに検討し、定めるものです。

2 位置付け

本計画は 2016 年（平成 28 年）2 月に策定、2024 年（令和 6 年）3 月に改定した「福山市公共施設等サービス再構築基本方針」に基づく個別施設計画に位置付けられます。また、2017 年（平成 29 年）7 月に策定した「福山市スポーツ推進計画」の整備方針の一つである「スポーツ施設の整備」を実現するための計画として位置付けます。

［計画の位置付け］



3 期間

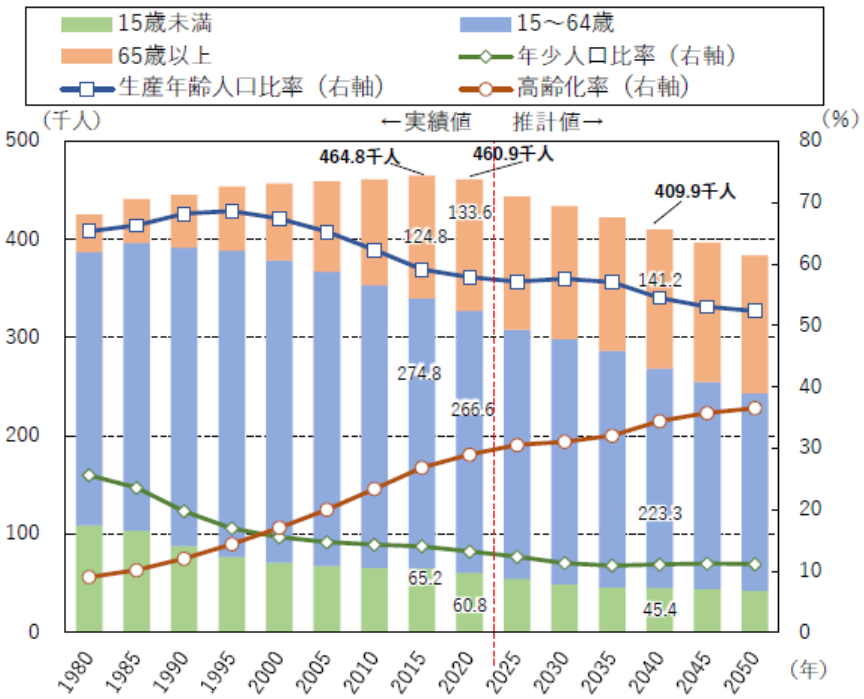
計画期間は 2025 年度（令和 7 年度）から 2044 年度（令和 26 年度）までの 20 年間とします。なお、社会情勢やスポーツを取り巻く様々な環境の変化等に応じ、中間年である 10 年目に見直しを行うこととします。

4 本市を取り巻く状況

(1) 人口

本市の人口は、2015 年（平成 27 年）頃をピークに減少に転じています。2020 年（令和 2 年）の国勢調査では 460,930 人で、1940 年（昭和 15 年）以来の減少となりました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2050 年（令和 32 年）には約 38 万人まで減少すると予測されています。また、年齢構成別の人口推移をみると、年少人口（15 歳未満人口）と生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満人口）がともに減少する見込みの中で、老年人口（65 歳以上人口）は増加する見込みとなっており、少子高齢化が進行していくことが予想されます。

［本市の将来人口推計（年 3 区分別）］



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2023 年推計）

※2020 年までは国勢調査の実績値、2025 年以降は推計値

(2) 財政状況

本市の財政状況については、人口減少の影響などにより市税収入の伸びは期待できず、全体として歳入の確保が難しくなっていくものと思われます。一方、歳出については、少子高齢化の更なる進行により、社会保障関係費が増加するほか、積極的に都市基盤づくりを進めてきたことにより、市債残高や公債費は増加するものと見込まれるため、今後も厳しい財政状況が予想されます。

5 対象施設の設定

本計画の対象とする施設は、次に掲げる施設とします。

［対象施設］　　(2025 年(令和 7 年)4 月 1 日現在)

種別	No.	施設名	地域	供用開始(年)	経過年数(年)	施設内容
体育館	1	総合体育館	中央	2020	5	アリーナ（メイン・サブ）、武道場、クライミング、トレーニングルーム
	2	緑町公園屋内競技場	中央	1995	30	アリーナ、トレーニングルーム
	3	沼隈体育館	南部	1978	47	アリーナ
	4	新市スポーツセンター	北部	2005	20	アリーナ、柔道場
	5	障害者体育センター	中央	1977	48	アリーナ
	6	神辺体育館	北東	2016	9	アリーナ
野球場	1	竹ケ端運動公園野球場	南部	1974	51	両翼90m・120m、客席15,299席
	2	箕沖球場	中央	1990	35	グラウンド
	3	曙公園野球場	中央	1974	51	グラウンド
	4	加茂公園野球場	北部	1982	43	グラウンド
	5	大佐山運動公園野球場	北部	1968	57	グラウンド
運動場	1	瀬戸公園運動場	中央	1985	40	グラウンド
	2	富谷運動場	北部	1965	60	グラウンド
	3	のうじま運動場	東部	1988	37	グラウンド
	4	みのしま運動場	中央	1990	35	グラウンド
	5	松永運動場	西部	1992	33	グラウンド
	6	新市中央運動場	北部	1980	45	グラウンド
	7	常金運動場	北部	1982	43	グラウンド
	8	神辺運動場	北東	1980	45	グラウンド
	9	神辺スポーツ広場	北東	1981	44	グラウンド
	10	沼隈運動場	南部	2007	18	グラウンド
	11	芦田川緑地運動場	中央等	不明	ー	グラウンド
	12	蔵王公園運動場	東部	1982	43	グラウンド
	13	新涯四丁目公園運動場	中央	1982	43	グラウンド
	14	駅家公園運動場	北部	1985	40	グラウンド
	15	福山テクノ公園運動場	中央	1994	31	グラウンド
陸上競技場	1	竹ケ端運動公園陸上競技場	南部	1978	47	400m・8コース、客席10,081席、補助競技場
サッカー場	1	手城東公園サッカー場	中央	1973	52	グラウンド
グラウンド・ゴルフ場	1	福山市グラウンド・ ゴルフ場	北部	2007	18	7コース、56ホール
	2	芦田川グラウンド･ゴルフ場	中央	2013	12	2コース、16ホール
	3	沼隈グラウンド･ゴルフ場	南部	2016	9	2コース、16ホール
弓道場	1	竹ケ端運動公園弓道場	南部	1988	37	近的6人立
	2	神辺体育館弓道場	北東	2016	9	近的3人立
漕艇場	1	（芦田川漕艇場）竹ケ端運動公園水上スポーツセンター	南部	1993	32	管理棟、艇庫、トレーニングルーム
水泳場	1	緑町公園屋内競技場	中央	1995	30	プール（50m・9コース、25m・8コース）、屋外飛込、屋内飛込練習場
	2	松永健康スポーツセンター	西部	1976	49	プール（25m・4コース）、トレーニングルーム
	3	松永グリーンパーク水泳場	西部	1980	45	プール（25m・6コース、幼児）
	4	深津水泳場	中央	1977	48	プール（25m・6コース、幼児）
庭球場	1	竹ケ端運動公園庭球場	南部	1997	28	テニスコート（人工芝）20面
	2	福山城公園庭球場	中央	1974	51	テニスコート（クレー）8面
	3	北本庄庭球場	中央	1993	32	テニスコート（クレー）6面
	4	二の川公園庭球場	中央	1972	53	テニスコート（クレー）2面
	5	福山テニスセンター	東部	1986	39	テニスコート（クレー）14面
	6	松永グリーンパーク庭球場	西部	1978	47	テニスコート（ハード）3面
	7	沼隈体育センター	南部	1981	44	テニスコート（人工芝）4面
	8	神辺テニスセンター	北東	1992	33	テニスコート（人工芝）4面
	9	神辺運動場	北東	1980	45	テニスコート（クレー）3面
	10	大佐山運動公園庭球場	北部	1977	48	テニスコート（クレー）3面

※上記対象施設のほか、アーバンスポーツについても一定の方向性を示します。

［対象施設の配置状況］

①
芦田川緑地運動場
瀬戸公園運動場
総合体育館
②
竹ケ端運動公園水上スポーツセンター（芦田川漕艇場）
竹ケ端運動公園庭球場
竹ケ端運動公園野球場
竹ケ端運動公園陸上競技場
竹ケ端運動公園弓道場
グラウンド・ゴルフ場
常金運動場
加茂公園野球場
新市中央運動場
神辺スポーツ広場
神辺運動場
新市スポーツセンター
大佐山運動公園庭球場
神辺テニスセンター
大佐山運動公園野球場
駅家公園運動場
神辺体育館弓道場
神辺体育館
富谷運動場
のうじま運動場
蔵王公園運動場
北本庄庭球場
芦田川グラウンド・ゴルフ場
深津水泳場
福山城公園庭球場
障害者体育センター
福山テニスセンター
手城東公園サッカー場
緑町公園屋内競技場
瀬戸公園運動場
芦田川緑地運動場
二の川公園庭球場
松永運動場
総合体育館
曙公園野球場
新涯四丁目公園運動場
福山テクノ公園運動場
松永健康スポーツセンター
竹ケ端運動公園水上スポーツセンター（芦田川漕艇場）
箕沖球場
松永グリーンパーク水泳場
竹ケ端運動公園陸上競技場
竹ケ端運動公園弓道場
松永グリーンパーク庭球場
沼隈体育センター
沼隈グラウンド・ゴルフ場
沼隈運動場
沼隈体育館
公共スポーツ施設
野球場
運動場
サッカー場
漕艇場
水泳場
グラウンド・ゴルフ場
弓道場
体育館
陸上競技場
庭球場
小学校区
行政区域
0
2.5
5 km
©国土数値情報 ©統計地理情報システム
©OpenStreetMap contributors CC-BY-SA

［対象施設の地域別配置状況］

	中央	東部	西部
体育館	総合体育館 緑町公園屋内競技場 障害者体育センター		
野球場	箕沖球場、曙公園野球場		
運動場	瀬戸公園運動場 みのしま運動場 芦田川緑地運動場 新涯四丁目公園運動場 福山テクノ公園運動場	のうじま運動場 蔵王公園運動場	松永運動場
陸上競技場			
サッカー場	手城東公園サッカー場		
グラウンド・ゴルフ場	芦田川グラウンド･ゴルフ場		
弓道場			
漕艇場			
水泳場	緑町公園屋内競技場 深津水泳場		松永健康スポーツセンター 松永グリーンパーク水泳場
庭球場	福山城公園庭球場 北本庄庭球場 二の川公園庭球場	福山テニスセンター	松永グリーンパーク庭球場

	南部	北部	北東部
体育館	沼隈体育館	新市スポーツセンター	神辺体育館
野球場	竹ケ端運動公園野球場	加茂公園野球場 大佐山運動公園野球場	
運動場	沼隈運動場	富谷運動場 新市中央運動場 常金運動場 駅家公園運動場	神辺運動場 神辺スポーツ広場
陸上競技場	竹ケ端運動公園陸上競技場		
サッカー場			
グラウンド・ゴルフ場	沼隈グラウンド・ゴルフ場	福山市グラウンド・ゴルフ場	
弓道場	竹ケ端運動公園弓道場		神辺体育館弓道場
漕艇場	竹ケ端運動公園水上スポーツセンター		
水泳場			
庭球場	竹ケ端運動公園庭球場 沼隈体育センター	大佐山運動公園庭球場	神辺テニスセンター 神辺運動場

第2章 基本方針

1 基本的な考え方

(1) めざす姿

福山市スポーツ推進計画の基本施策の一つであるスポーツ施設の整備の中で掲げる**「だれもが身近にスポーツに親しむことができる施設環境」**の実現をめざします。

(2) 施設整備の視点

ア　施設の利用目的に沿った整備

・本市のスポーツ活動の拠点となる施設、地域のスポーツ活動の中心となる施設、だれもがいつでも気軽に個人で利用できる施設など、それぞれの施設の特性や利用目的に応じた整備を行います。

・国のスポーツ基本計画において、スポーツへの参画は、「する」「観る」「支える」という様々な形を想定しています。
そのうち、「する」「観る」という２つの参画のスタイルにおいて、小中学校の体育館、グラウンドや公園などスポーツ施設以外の公共施設、近隣市町の施設などの利用も含め、「身近にスポーツに親しむ」環境づくりをめざします。

する	属性ごとに利用目的や競技特性などに応じて、次に掲げる活動場所を基本とする。 ・中高学校の運動部活動：練習は学校、試合は市内施設 ・ジュニア期（部活動以外）、働く世代の活動：練習は市内施設、試合は市内又は近隣市町の施設 ・高齢者の活動、地域での活動：練習や試合も含め、学区内又はブロック内の施設
観る	・既存施設の活用を基本に、プロスポーツの誘致を行うとともに、スポーツ情報の発信強化やスポーツ行事の賑わいの創出等に取り組むことにより、「観る」スポーツの充実を図る。

イ　安全なスポーツ環境の提供

施設の安全性の確保や、バリアフリー化の推進とともに、ユニバーサルデザインの視点で施設を整備し、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、だれもが一緒に安全にスポーツを行うことのできる施設づくりに努めます。

ウ　災害時の対応

本市のスポーツ施設の中には、災害時における避難場所等に指定されている施設があり、防災機能を果たし災害時の対応が可能な施設として整備します。

(3) 施設整備の方向性

近隣市町に所在する施設の有効活用の視点（以下、下線箇所）も踏まえ、次の４つの方向性を基本とします。

ア　適正配置、保有総量の縮小

新たな施設整備のニーズや、施設の老朽化等により既存の施設の建て替えが必要な場合は、スポーツ施設以外の公共施設の活用、広島県や近隣市町が所有・運営するスポーツ施設の広域利用のほか、公と民との役割分担を踏まえたうえで方向性を決定し、保有総量の縮小を検討します。

イ　効率的・効果的な利用

施設情報の発信や利用状況の検証による施設間の利用調整など、既存施設を最大限活用できるよう取り組みます。また、スポーツ施設だけでなく、他の公共施設や小中学校の屋内運動場・グラウンド、公園などを含めた既存施設を最大限活用します。

さらに、備後圏域内での施設整備や共同利用等、広域的な視点により検討を進めます。

ウ　計画的保全、長寿命化

施設の状況を定期的に点検し、計画的で適切な維持補修を行うことにより施設の長寿命化を図ります。

エ　施設不足への対応

施設種別ごとに検討した結果、施設が不足する場合の対応の考え方は、次のとおりとします。

手法	内容
市内の既存施設の活用	・小中学校の体育館、グラウンドや公園などスポーツ施設以外の公共施設の既存施設の利活用を検討する。 ・稼働率が低く利用者数が少ない施設や、特定の団体による独占的な利用については、他団体との調整等の利用改善を行う。 また、利用改善等に向けて取り組む施設については、基準や期間を定めて取り組むこととする。
市外の施設の活用	・広島県や近隣市町が所有・運営するスポーツ施設の基本情報を共有し、広域的に連携してスポーツ施設を活用する方策を検討する。
新規整備	・上記方策を実施してもなお、施設が不足している場合に限り、新規整備について検討する。 ・新規整備は、地域性を勘案し、代替施設となり得る施設が周辺に存在しない場合や代替施設を活用しても不足する場合は、新たに施設を整備する。 ・新たな施設の整備が必要となる場合には、広島県や近隣市町と連携し、より効果的な整備方策の検討や他の機能との複合化を基本に検討する。

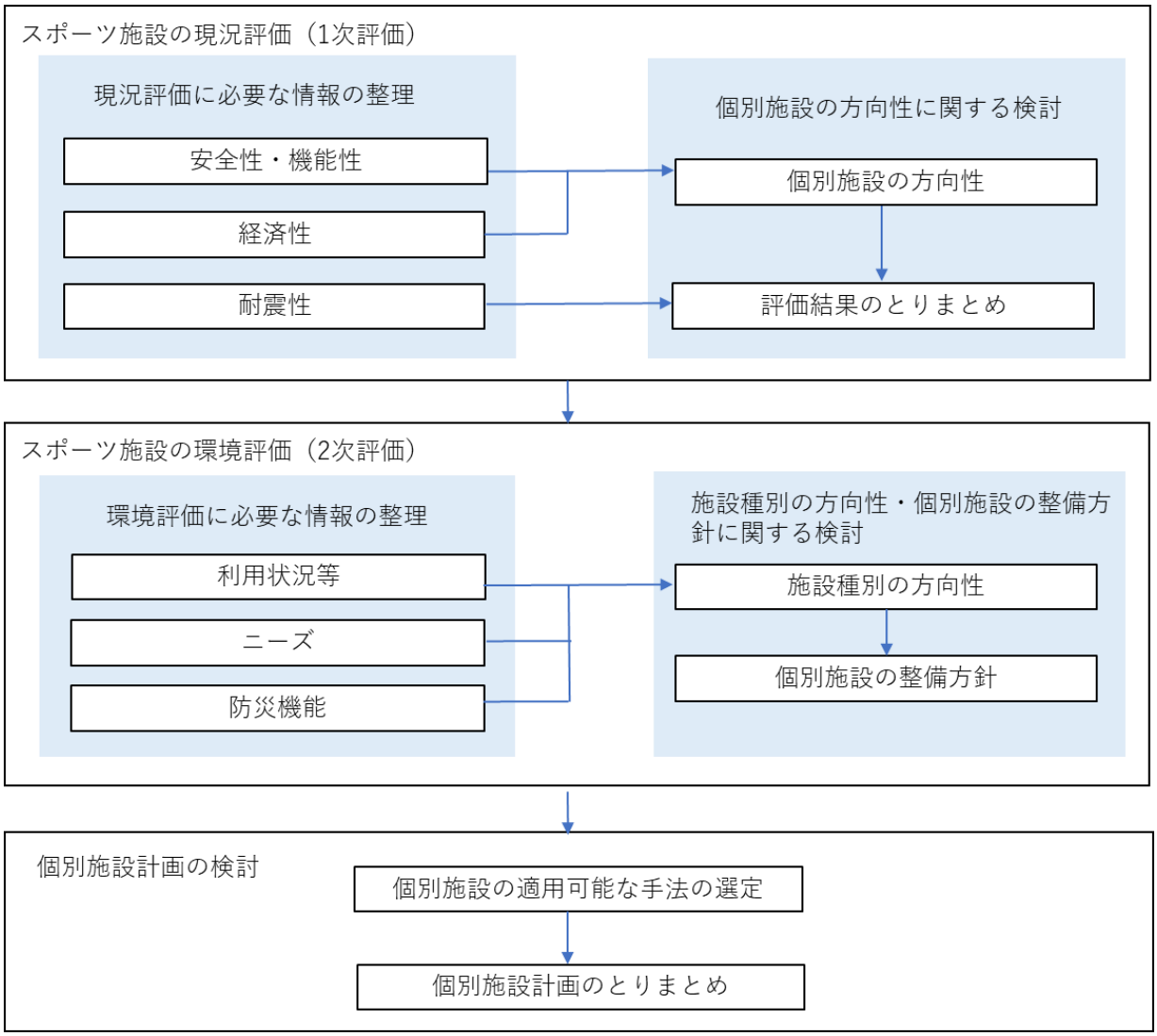
2 1次評価、2次評価の考え方

スポーツ庁が示す「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（平成 31 年 4 月一部改訂）」の計画策定の手順を参考とし、次のフローによることとします。

各施設について、現況評価（1 次評価）で、「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」の面から整備手法を整理します。次に、環境評価（2 次評価）においては、1 次評価による施設の方向性に、利用状況・稼働率や各地域の状況、市民ニーズ等のスポーツ環境の評価結果を加えて、施設整備の方向性を定めます。

なお、水泳場及び庭球場については、「福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）」を基本に、情勢の変化に応じた評価を行い、方向性を定めるものとします。

［策定のフロー］



第3章 スポーツ施設の評価

1 スポーツ施設の現況評価（1 次評価）

(1) 基本情報の把握、整理

現況評価（1 次評価）を行うスポーツ施設の基本情報を把握し、整理した概要は次のとおりです。

［公共スポーツ施設の概要］

種別	施設名	敷地面積（㎡）	実施可能競技種目
体育館	総合体育館	33,674	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、卓球、ﾌｯﾄｻﾙ、柔道、剣道、ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ等
	緑町公園屋内競技場	23,000	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、卓球、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ、ｿﾌﾄﾃﾆｽ、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ等
	沼隈体育館	4,892	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、卓球、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ、ｿﾌﾄﾃﾆｽ、ﾌｯﾄｻﾙ等
	新市スポーツセンター	2,673	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、卓球、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ、ｿﾌﾄﾃﾆｽ、ﾌｯﾄｻﾙ、柔道等
	障害者体育センター	1,479	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、卓球、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ、車椅子ﾃﾆｽ等
	神辺体育館	9,374	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、卓球、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ、ｿﾌﾄﾃﾆｽ、ﾌｯﾄｻﾙ等
野球場	竹ケ端運動公園野球場	22,851	硬式野球、軟式野球
	箕沖球場	45,083	硬式野球、軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ等
	曙公園野球場	12,000	硬式野球、軟式野球等
	加茂公園野球場	8,521	硬式野球、軟式野球等
	大佐山運動公園野球場	12,235	硬式野球、軟式野球等
運動場	瀬戸公園運動場	5,100	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	富谷運動場	8,334	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	のうじま運動場	6,608	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	みのしま運動場	10,700	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	松永運動場	12,234	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	新市中央運動場	7,619	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	常金運動場	5,600	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	神辺運動場	12,000	硬式野球、軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	神辺スポーツ広場	4,300	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	沼隈運動場	26,870	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	芦田川緑地運動場	81,298	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	蔵王公園運動場	10,000	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	新涯四丁目公園運動場	10,000	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	駅家公園運動場	11,050	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
	福山テクノ公園運動場	9,400	軟式野球、ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ等
陸上競技場	竹ケ端運動公園陸上競技場	25,000	陸上、ｻｯｶｰ、ﾗｸﾞﾋﾞｰ等
サッカー場	手城東公園サッカー場	15,000	ｻｯｶｰ等
グラウンド・ゴルフ場	福山市グラウンド・ ゴルフ場	30,000	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ
	芦田川グラウンド･ゴルフ場	5,600	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ
	沼隈グラウンド･ゴルフ場	5,900	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺﾞﾙﾌ
弓道場	竹ケ端運動公園弓道場	1,200	弓道
	神辺体育館弓道場	ー	弓道
漕艇場	竹ケ端運動公園 水上スポーツセンター	3,961	ﾛｰｲﾝｸﾞ、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ
水泳場	松永健康スポーツセンター	2,619	水泳、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ

※庭球場及び水泳場については、福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）によることとし、松永健康スポーツセンターを除き、現況評価は行わないものとします。

(2) 施設の現況評価

対象施設について、安心・安全・快適な利用に必要となる施設の性能を把握するため、基礎情報を収集・整理し、その情報に基づき、個別施設の方向性及び整備手法を検討し、その評価結果を取りまとめます。

① 現況評価に必要な基礎情報の整理

1 次評価の対象施設について、施設の現況評価に必要な基礎情報を収集・整理します。

ア 安全性・機能性

「安全性・機能性」の分析のための基礎情報を収集し、それぞれの項目の劣化状況（健全度状況）や対策の実施状況等について整理します。

項 目	内 容
経過年数	○供用開始年度からの経過年数
躯体	○躯体の劣化状況（剥離、ひび割れ等）
	○外壁の劣化状況（剥離、落下等）
	○フェンス・塀等の屋外施設・設備の劣化状況
屋内	○内装、床、天井の劣化等
付帯施設・設備	○付帯施設（トイレ、シャワー、更衣室等）の劣化状況 ○設備（空調、電気設備等）の劣化状況

イ 経済性

「経済性」の分析のための基礎情報として、施設管理コスト及び使用料等の収入に関する情報について整理します。

項 目	内 容
収入	○使用料、ネーミングライツ等による収入状況
支出	○指定管理料（物件費、人件費）、土地借上料、建物保険料等による支出 ○工事、修繕等による支出

ウ 耐震性

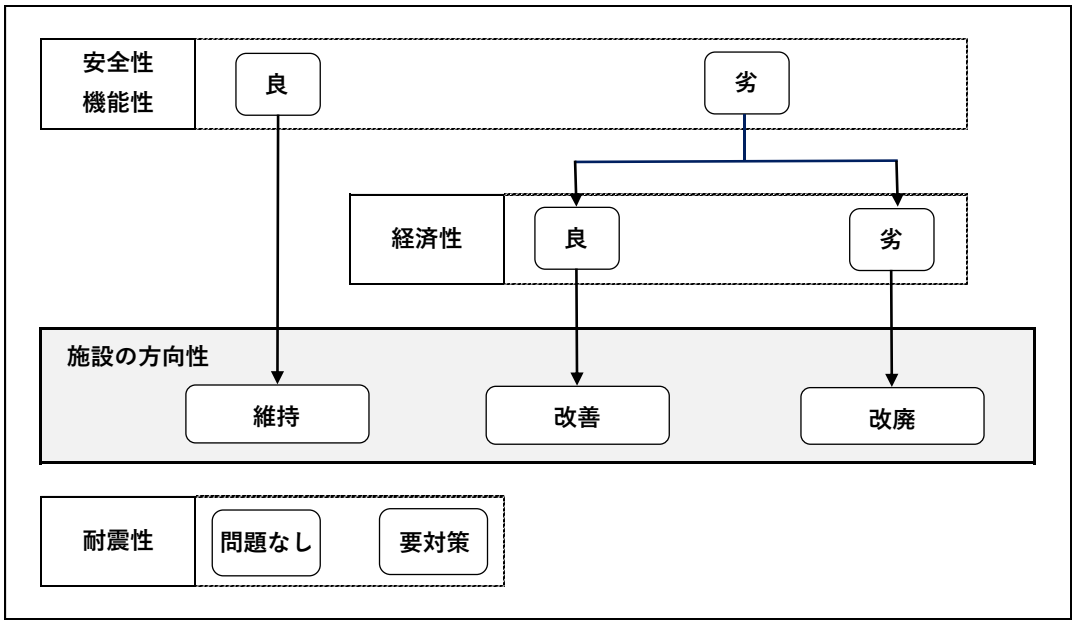
「耐震性」について、対象となる施設の情報を整理します。

項 目	内 容
適合する耐震基準	○1981 年（昭和 56 年）以前の耐震基準（旧耐震基準）
耐震診断	○旧耐震基準による建築物である場合、診断の実施の有無 ○診断結果から耐震改修の必要性の有無
耐震改修	○耐震改修の実施の有無

② 施設の基礎情報に基づく個別施設の方向性に関する検討

収集した情報をもとに施設の現状を評価し、その結果をもとに個々の施設の方向性及び整備手法を検討します。評価の検討フローは以下のとおりです。

［施設の方向性の検討の流れ］



③ 施設の方向性の検討

各施設に対して、「維持」・「改善」・「改廃」の施設の方向性を検討します。1 次評価で実施する「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」における評価の考え方は以下のとおりです。

ア 安全性・機能性の評価

各施設における「市有施設安全点検」、「建築基準法第 12 条に基づく定期点検」や各種劣化状況調査等を踏まえ、以下の状況から安全性・機能性の評価を行います。

［安全性・機能性に関する評価の考え方］

■屋内スポーツ施設

評価項目/評価段階		良		劣	
		A	B	C	D
躯体等の安全性 ※1、2 で異なる評価の場合は、低い評価を採用	**1 躯体の劣化状況** （剥離、ひび割れ）、漏水、外壁（剥離、落下）	全体的に健全	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行	全体的に劣化が進行	全体的に劣化が顕著
	2 築後の経年数 **《構造別年数》** ①SRC、RC（鉄筋） ②S（鉄骨） ③木造・その他	現時点で中規模改修が必要前の施設 ①建築後 20 年未満 ②建築後 20 年未満 ③建築後 13 年未満	現時点で長寿命化改修が必要前の施設 ①建築後 40 年未満 ②建築後 40 年未満 ③建築後 25 年未満	現時点で 2 回目の中規模改修が必要前の施設 ①建築後 60 年未満 ②建築後 60 年未満 ③建築後 38 年未満	目標使用年数が近い施設 ①建築後 60 年以上 ②建築後 60 年以上 ③建築後 38 年以上
屋内の安全性・機能性	**〇屋内の劣化状況** （内装、床、天井、 空調等） **〇付帯設備** （トイレ、シャワー、更衣室等の設備における状況）	全体的に健全	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行	全体的に劣化が進行	全体的に劣化が顕著

■屋外スポーツ施設　※施設の機能に影響を及ぼす部分に限る。

評価項目/評価段階		良		劣	
		A	B	C	D
安全性	フェンスや塀等の経年劣化による老朽化状況を評価分類	全体的に健全	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行	全体的に劣化が進行	全体的に劣化が顕著

イ 経済性の評価

評価にあたっては、支出を収入でどれだけ賄えているか、受益者負担の割合から経済性を評価します。

また、安全性・機能性の評価において、「劣」と評価された施設については、経済性を加味し評価を行います。

［経済性に関する評価の考え方］

評価項目/評価段階		良	劣
経済性	受益者負担割合	支出に対する収入の割合 50%以上	支出に対する収入の割合 50%未満

※収入は、2017 年度から 2024 年度までの使用料及びネーミングライツ料の年平均から算出

支出は、2017 年度から 2024 年度までの指定管理料（物件費、人件費）、 土地借上料、建物保険料の年平均及び 1987 年度から 2024 年度までの工事及び修繕費用の年平均で算出

ウ 耐震性の評価

1981 年（昭和 56 年）までの建築確認において適用されていた基準（旧耐震基準）により建設された施設については、耐震性を満たしていないことから、1981 年（昭和 56 年）以前の建設・改築や耐震補強等を実施していない施設は、「要対策」施設として評価します。

［耐震性に関する評価の考え方］

評価項目・評価箇所		評価方法	
		問題なし	要対策
耐震性評価	建築物を有する施設について、建設年を基に、耐震性を評価。	1981 年（昭和 56 年）以降の建設又は 1981 年（昭和 56 年）以前の建設であっても、改築や耐震補強等を実施している施設	1981 年（昭和 56 年）以前の建設かつ改築や耐震補強等を実施していない施設

エ 1 次評価による施設の方向性

総合評価による結果から整理する今後の施設整備の方向性は、次のとおりです。

［施設整備の方向性］

方向性	内容
維持	計画的に改修等の保全を行い、現在の施設をより長く使用する。
改善	地震に対する安全性向上を目的に改修する。
	経年劣化への対応を目的に改修する。
改廃	現状の施設を解体し、現地若しくは別の敷地に新たに施設を整備する。
	施設を解体・撤去する。

(3) 1 次評価結果の取りまとめ

対象施設について、施設の方向性及び整備手法の評価を整理したものは、次のとおりです。

［1 次評価の結果一覧］

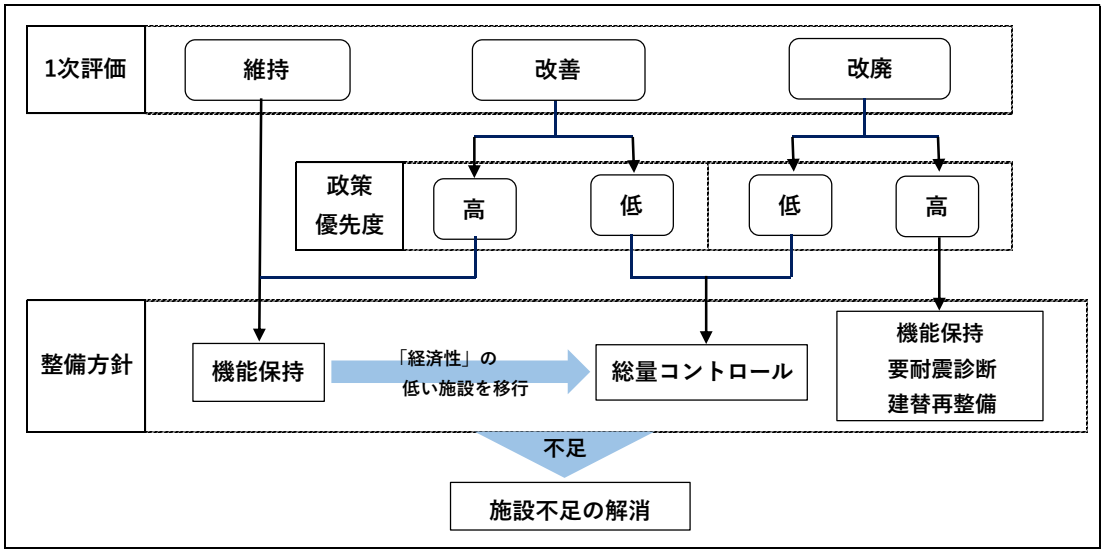
種別	地域	施設名	構造	安全性・機能性				経済性	耐震性	個別施設の方向性
				安全性	機能性	屋外施設の健全度	評価	評価	評価	
体育館	中央	総合体育館	SRC	A	A	－	良	劣	問題なし	維持
	中央	緑町公園屋内競技場	RC	B	B	－	良	劣	問題なし	維持
	南部	沼隈体育館	SRC	C	C	－	劣	良	問題なし	改善
	北部	新市スポーツセンター	RC	B	B	－	良	劣	問題なし	維持
	中央	障害者体育センター	S	C	C	－	劣	劣	要対策	改廃
	北東部	神辺体育館	RC	A	A	－	良	良	問題なし	維持
野球場	南部	竹ケ端運動公園野球場	RC	C	C	C	劣	劣	要対策	改廃
	中央	箕沖球場	S	―	―	A	良	劣	―	維持
	中央	曙公園野球場	RC	―	―	D	劣	劣	―	改廃
	北部	加茂運動公園野球場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	北部	大佐山運動公園野球場	RC	―	―	A	良	劣	―	維持
運動場	中央	瀬戸公園運動場	―	―	―	B	良	劣	―	維持
	北部	富谷運動場	―	―	―	B	良	劣	―	維持
	東部	のうじま運動場	―	―	―	B	良	劣	―	維持
	中央	みのしま運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	西部	松永運動場	―	―	―	B	良	劣	―	維持
	北部	新市中央運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	北部	常金運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	北東部	神辺運動場	―	―	―	A	良	良	―	維持
	北東部	神辺スポーツ広場	―	―	―	A	良	良	―	維持
	南部	沼隈運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	中央部	芦田川緑地運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	東部	蔵王公園運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	中央	新涯四丁目公園運動場	―	―	―	A	良	良	―	維持
	北部	駅家公園運動場	―	―	―	A	良	良	―	維持
	中央	福山テクノ公園運動場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
陸上競技場	南部	竹ケ端運動公園陸上競技場	RC	C	D	―	劣	劣	要対策	改廃
サッカー場	中央	手城東公園サッカー場	―	―	―	B	良	劣	―	維持
グラウンド・ゴルフ場	北部	福山市グラウンド・ゴルフ場	木造	―	―	A	良	劣	―	維持
	中央	芦田川グラウンド・ゴルフ場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
	南部	沼隈グラウンド・ゴルフ場	―	―	―	A	良	劣	―	維持
弓道場	南部	竹ケ端運動公園弓道場	S	B	A	―	良	良	問題なし	維持
	北東部	神辺体育館弓道場	RC	A	A	―	良	劣	問題なし	維持
漕艇場	南部	芦田川漕艇場	―	―	―	―	―	―	―	―
		竹ケ端運動公園水上スポーツセンター	S	C	C	―	劣	劣	問題なし	改廃
水泳場	南部	松永健康スポーツセンター	SRC、S	C	C	―	劣	劣	要対策	改廃

2 スポーツ施設の環境評価（2 次評価）

(1) スポーツ施設の整備方針に関する検討

対象施設の環境に関する情報を収集し、スポーツ施設の提供・利用時の視点から、施設種別ごとに現状、今後の方向性を整理します。情報をもとにスポーツ環境を評価し、施設の方向性（1 次評価）にスポーツ環境の評価結果を加えて整備方針を検討します。

① 整備方針の検討の流れ



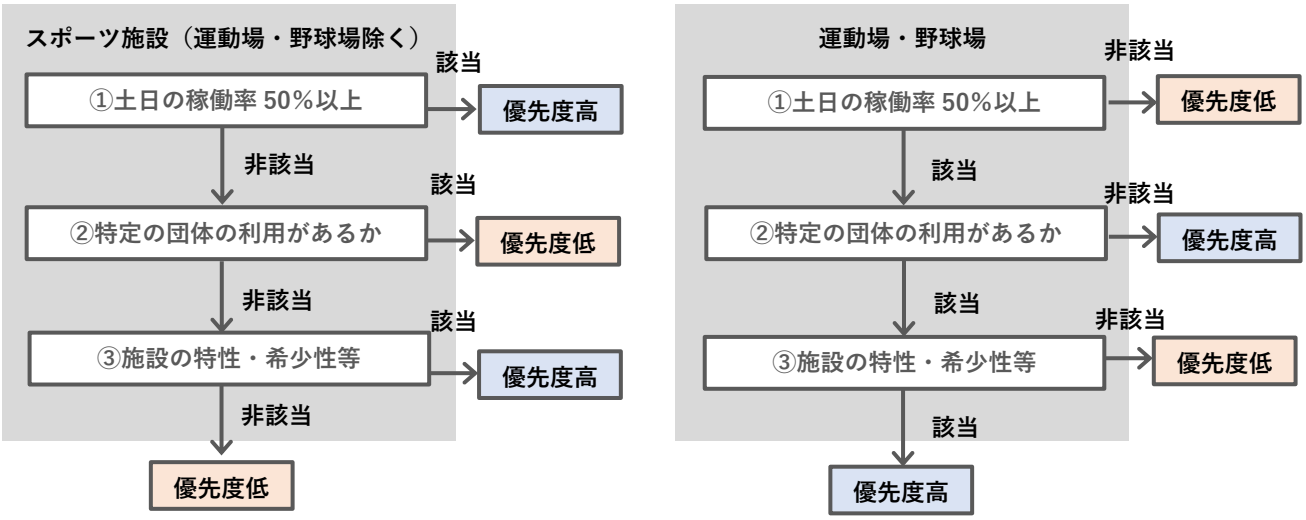
② 環境評価に関して収集した情報

利用状況	利用人数、稼働率、スポーツ施設以外の利用状況、大会の開催状況等
ニーズ	福山市スポーツアンケート（2021 年実施）、施設利用者アンケート（2024 年 2 月実施）、競技団体ヒアリング（2024 年 2 月実施）、各学区体育会意見交換会（2024 年 2 月実施）、LINE アンケート（2024 年 11 月実施）
防災機能	地域防災計画上の位置付け

③ 政策優先度の検討

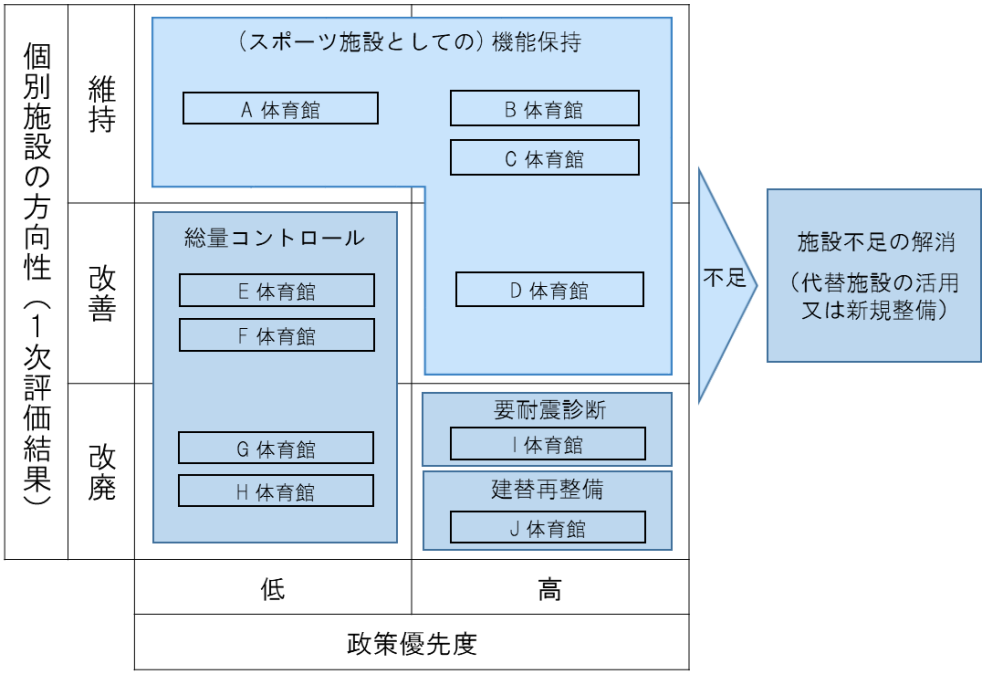
政策優先度については、施設整備の基本方針及び次の評価の考え方をもとに総合的に検討を行い、整備方針を決定し、1 次評価と政策優先度を 2 軸とするマトリクスで整理します。

［政策優先度の評価の考え方］



項 目	内 容
①土日の稼働率 50%以上	○利用率の高い土日の稼働率が 50%以上か
②特定の団体の利用があるか	○特定の団体による利用のみとなり、実利用者が少ない施設となっていないか
③施設の特性・希少性等	○市内や圏域からの利用者が多く、希少性の高い施設であるか ○「防災機能の有無」「ニーズ」があるか

［スポーツ施設の整備方針（2 次評価）マトリクス］



項 目	内 容
機能保持	現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。
要耐震診断	引き続き使用する施設について耐震診断を行い、今後の整備手法を検討する。
建替再整備	老朽化が激しいものについては、建替再整備の時期や方法を検討する。
総量コントロール	将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期、方法について検討する。

(2) 施設種別ごとの整備方針・個別施設の整備方針

施設の方向性（1 次評価）に政策優先度を加えて施設種別ごとの方向性を整理したうえで、対象施設ごとの整備方針を検討します。

※スポーツ施設、その他の施設の稼働率並びに小中学校の使用率は、2023 年度及び 2024 年度の 2 か年平均で掲載。

① 体育館

【現状】

○利用状況

地域	施設名	稼働率（土日）	主な用途（大会・練習）	地域防災計画の位置付け	利用状況等
中央	総合体育館	82.9% (92.6%)	大会、練習	有（緊急避難場所、避難所）	・利用者数　2024年度27.5万人、2023年度24.1万人 ＊稼働率はメインアリーナ
	緑町公園屋内競技場	78.2% (94.3%)	大会、練習	有（緑町公園が広域避難場所）	・利用者数　2024年度7.6万人、2023年度7.3万人 ・大会は、主に水泳、バレー、バドミントン等 ・夏季はプールのため、アリーナとしては使用できない。 ・床の損傷、競技用備品の不足など設備面での課題がある。
	障害者体育センター	91.7% (90.3%)	大会、練習	なし	・利用者数　2024年度1.3万人、2023年度1.2万人 ・障がい者対象の大会（卓球、アーチェリー、eスポーツ等）も定期的に開催されている。 ・障がい者と健常者で申込受付開始時期が異なっており、利用の約70%が障がい者となっている。
	コミュニティセンター（5 施設）	53.4% (60.3%)	練習	―	
	その他公共施設（自然研修センター）	46.9% (57.4%)	練習	―	
東部	民間施設（2施設）	―	大会	―	JFE旭ヶ丘体育館、シャープ福山スポーツセンター
西部	コミュニティセンター（3施設）	46.2% (46.2%)	練習	―	
南部	沼隈体育館	73.7% (92.2%)	大会、練習	有（避難所）	・利用者数　2024年度2.8万人、2023年度2.7万人 ・観客席を備えており、卓球やバスケ等の大会が開催されている。
	コミュニティセンター（1施設）	16.7% (21.1%)	練習	―	
北部	新市スポーツセンター	47.1% (75.5%)	大会、練習	有（避難所）	・利用者数　2024年度1.8万人、2023年度1.7万人 ・大会は、主に卓球、トランポリン ・フットサル、テニス、卓球、体操関係の使用が多い。
	コミュニティセンター（1施設）	77.8% (81.5%)	練習	―	
北東部	神辺体育館	55.9% (62.1%)	大会、練習	有(神辺市民交流センターが基幹緊急避難場所)	・利用者数　2024年度4.0万人、2023年度3.1万人 ・大会は主に卓球 ・平日は、フットサルやバトン等の利用が多い。

地域	施設名	使用率（土日）	利用状況等
中央	小学校体育館（26校）	79.5%(65.8%)	・主にバスケットボール、バレーボール、バドミントン、空手、剣道、卓球等の練習での利用が多い。 ・大会は予選での利用がある。
	中学校体育館（9校）	82.1%(72.2%)	
東部	小学校体育館（13校）	84.9%(74.2%)	
	中学校体育館（6校）	76.7%(75.6%)	
西部	小学校体育館（7校）	58.5%(57.5%)	
	中学校体育館（3校）	63.4%(56.3%)	
南部	小学校体育館（7校）	45.2%(43.6%)	
	中学校体育館（2校）	55.8%(43.8%)	
北部	小学校体育館（12校）	73.7%(58.9%)	
	中学校体育館（5校）	86.8%(70.0%)	
北東部	小学校体育館（6校）	81.8%(71.6%)	
	中学校体育館（3校）	65.5%(38.6%)	

・スポーツ施設の土日の稼働率はいずれも 60～90%と高く、過去 10 年間の利用者推移は、概ね横ばい若しくは増加傾向にある。
・スポーツ施設のほか、自然研修センター、コミュニティセンター、小中学校体育館などの公共施設、民間施設も、バスケットボールや卓球など様々な用途で利用されている。
・練習はスポーツ施設のほか、小中学校体育館、コミュニティセンターを利用し、大会時はスポーツ施設のほか、民間施設や近隣市（府中市、尾道市、笠岡市、井原市等）の施設を利用している。
・総合体育館については、大規模大会の利用が多く、希望する日での予約が取りにくい。
・地域スポーツの受け皿である小中学校体育館の使用率やコミュニティセンターの稼働率が、西部地域、南部地域では、他の地域と比べて低い。

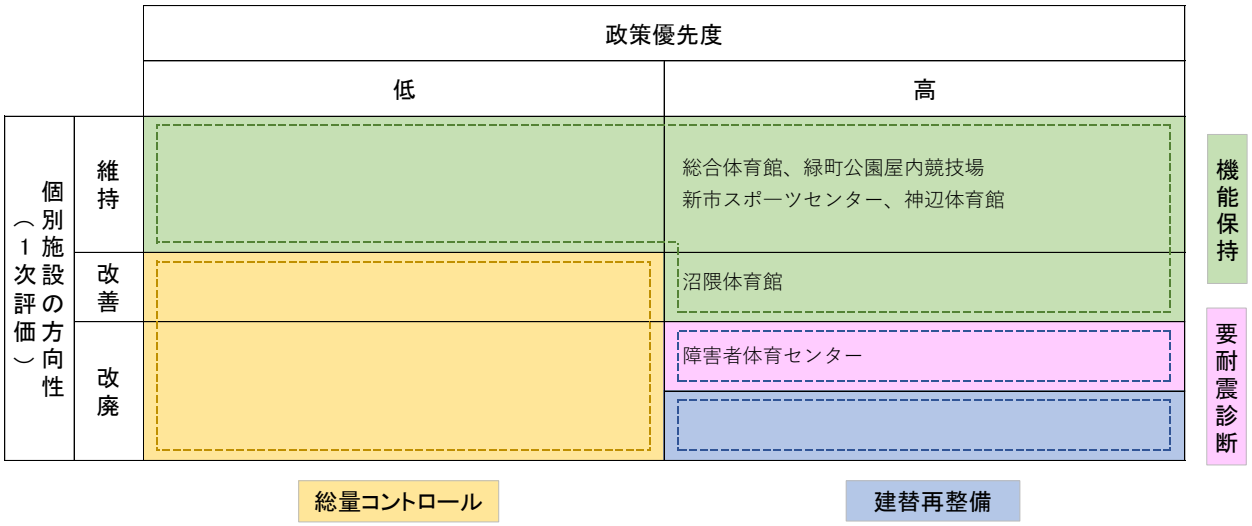
○ニーズ
・施設利用者アンケートによると、施設利用の満足度は 80%程度である。
・一方、新市スポーツセンター、神辺体育館及び沼隈体育館へ空調が整備されていないことや施設の老朽化への不満の声もあり、競技団体のヒアリングや LINE アンケートでも同様の意見があった。
・総合体育館の利用ができない場合に、同規模の施設である緑町公園屋内競技場において大会を実施していくため、備品の充実を求める意見が競技団体からある。
・使いたい時にスポーツ施設や学校、コミュニティセンターの予約が取りにくいとの意見がある。

○防災機能
・体育館は、災害時の避難所、緊急避難場所、また、平時における備蓄物資保管場所としての防災機能を有している。

【今後の方向性】

・現行の施設はいずれも稼働率が高く、必要な予防保全や改修を行い、施設の機能維持が必要である。
・使いたい時に利用できないとの意見や、施設不足の声に対しては、公共施設予約サービスの周知や小中学校体育館を効率的に利用できる方策を検討する。
・障害者体育センターについては、障がい者のスポーツをする場としての役割を担っており、機能維持が必要である。安全性・機能性の評価が低いため、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法等を検討する。また、整備までの間は、必要な安全性・機能性の改善を行うこととする。
・東部地域及び西部地域においては、スポーツ施設の体育館がなく、民間施設や他の公共施設、学校施設などがその受け皿となっているため、使用状況や利用者ニーズの把握などに努め、身近にスポーツに親しめる環境づくりを保持していく必要がある。
・スポーツ施設の空調設備については、施設の利用用途、利用者数、稼働率、防災上の位置付けなどを総合的に判断し、整備について検討する。
・市民の利便性が向上するよう、施設間での設備、備品の活用の基準を設ける等の対応策を整理する。

【個別施設の整備方針】



② 野球場・運動場・陸上競技場・サッカー場

【現状】

○利用状況

地域	施設名	稼働率（土日）	主な用途（大会・練習）	地域防災計画の位置付け	夜間照明の有無	利用状況等
中央	箕沖球場	24.4% (53.0%)	大会、練習	なし	有 (野球場)	・利用者数　2024年度2.3万人、2023年度2.1万人 ・土日はソフトボールが2回/週以上、野球が1回/週、平日は野球が2回/週以上
	曙公園野球場	25.0% (50.1%)	大会、練習	なし	有	・利用者数　2024年度1.1万人、2023年度1.0万人 ・土日は野球が2回/週以上、サッカーが1回/週、平日は野球が1回/週
	瀬戸公園運動場	32.6% (44.0%)	練習	なし	有	・利用者数　2024年度7,100人、2023年度8,700人 ・ソフトボールが土日2回/週以上、平日1回/週、グラウンド・ゴルフが平日2回/週以上 ・地元町内会、子ども会の独占利用
	みのしま運動場	15.2% (46.2%)	練習	なし	なし	・利用者数　2024年度3,500人、2023年度3,900人 ・土日は野球が2回/月、ソフトボールが1回/週 ・平日の利用は少ない
	芦田川緑地運動場	19.7% (28.1%)	練習	なし	なし	・利用者数　2024年度2.0万人、2023年度2.0万人
	新涯四丁目公園運動場	14.6% (39.5%)	大会、練習	なし	なし	・利用者数　2024年度4,400人、2023年度4,800人 ・土日はソフトボールが2回/週以上 ・土日は主にソフト数団体の利用
	福山テクノ公園運動場	14.9% (47.2%)	練習	なし	なし	・利用者数　2024年度3,600人、2023年度3,900人 ・土日、平日ともソフトボールが1回/週
	手城東公園サッカー場	16.9% (43.0%)	大会、練習	なし	なし	・利用者数　2024年度6,900人、2023年度9,700人
	その他公共施設 （自然研修センター）	31.3% (70.0%)	大会、練習	―	なし	第1グラウンド、第2グラウンド
	その他公共施設 （みらい創造ゾーン多目的広場）	23.9% (40.6%)	大会、練習	―	なし	
	民間施設（2施設）	―	大会、練習	―	―	エヴォルヴィンフットボールクラブ、 日本化薬スポーツ施設
東部	のうじま運動場	43.2% (38.6%)	練習	なし	有	・利用者数　2024年度1.3万人、2023年度1.5万人 ・土日はソフトボールが1回/週、平日はグラウンド・ゴルフが2回/週以上、サッカーが1回/週、野球が2回/月
	蔵王公園運動場	9.6% (26.5%)	練習	なし	なし	・利用者数　2024年度1,800人、2023年度1,900人 ・土日はソフトボール、サッカーが1/週、平日はサッカーが1/週 ・平日の利用は少ない
西部	松永運動場	39.3% (60.2%)	大会、練習	なし	有	・利用者数　2024年度1.6万人、2023年度1.6万人 ・野球が土日、平日とも2回/週以上、平日はグラウンド・ゴルフが2回/週以上、サッカーが1回/週
	その他公共施設 （今津グラウンド）	―	練習	―	有	
南部	竹ケ端運動公園野球場	34.7% (55.5%)	大会、練習	有（竹ケ端運動公園が広域避難場所）	有	・利用者数　2024年度3.0万人、2023年度3.4万人
	竹ケ端運動公園陸上競技場	76.4% (84.3%)	大会、練習	有（竹ケ端運動公園が広域避難場所）	有	・利用者数　2024年度6.7万人、2023年度8.7万人
	沼隈運動場	22.7% (57.6%)	大会、練習	なし	有	・利用者数　2024年度9,600人、2023年度1.1万人 ・土日は野球が2回/週以上、サッカーが1回/週、平日はサッカーが2回/月 ・土日は主に野球1団体が独占利用
	その他公共施設 （竹ケ端運動公園多目的広場）	32.6% (67.3%)	大会、練習	―	なし	
	その他公共施設 （一本松グラウンド）	―	練習	―	なし	
	その他公共施設 （鞆鉄鋼グラウンド）	―	大会、練習	―	なし	
	民間施設（1施設）	―	大会、練習	―	―	ツネイシしまなみビレッジ

地域	施設名	稼働率 （土日）	主な用途 （大会・練習）	地域防災計画の 位置付け	夜間照明 の有無	利用状況
北部	加茂公園野球場	17.6% (44.1%)	大会・練習	なし	有	・利用者数　2024年度5,900人、2023年度6,200人 ・野球が土日2回/週以上、平日1回/週 ・土日は野球チーム1チームが独占利用
	大佐山運動公園野球場	22.5% (43.9%)	大会・練習	なし	有	・利用者数　2024年度5,500人、2023年度8,600人 ・野球は土日、平日とも2回/週以上 ・土日は野球団体が独占利用
	富谷運動場	15.4% (38.5%)	大会・練習	なし	有	・利用者数　2024年度8,200人、2023年度7,600人 ・土日はソフトボールが1回/週、野球が2回/月、 平日は野球、グラウンド・ゴルフが2回/月
	新市中央運動場	32.9% (51.6%)	大会・練習	なし	有	・利用者数　2024年度7,400人、2023年度1.0万人 ・土日は野球、サッカーが2回/週以上、平日はソフトボール、グラウンド・ゴルフが2回/週以上
	常金運動場	22.4% (53.4%)	練習	なし	有	・利用者数　2024年度8,500人、2023年度9,400人 ・野球：土日、平日とも2回/週以上 ・野球の1団体のほぼ独占使用
	駅家公園運動場	41.9% (52.0%)	大会・練習	なし	有	・利用者数　2024年度2.6万人、2023年度2.0万人 ・土日はサッカーが2回/週以上、平日はサッカー、グラウンド・ゴルフが2回/週以上、ソフトボールが1回/週
	その他公共施設 （弥生ヶ丘グラウンド）	―	練習	―	なし	
北東部	神辺運動場	26.1% (56.4%)	練習	なし	有	・利用者数　2024年度5,100人、2023年度5,300人 ・土日は硬式野球2回/週以上、平日は野球(軟式・硬式)、ソフトボール、サッカー2回/月 ・土日は野球チーム1チームが独占利用
	神辺スポーツ広場	14.7% (41.5%)	練習	なし	なし	・利用者数　2024年度2,400人、2023年度2,000人 ・土日は、ソフトボール、サッカーが2回/週以上 ・土日は主にソフト3団体の利用 ・平日の利用は少ない

地域	施設名	使用率 平日（土日）	夜間照明の 有無	利用状況
中央	小学校グラウンド（26校）	59.6%(60.1%)	有	・主にサッカー、ソフトボール、野球、フットベースボール、グラウンド・ゴルフ等の練習での利用が多い。
東部	小学校グラウンド（13校）	66.4%(67.0%)	有	
西部	小学校グラウンド（7校）	56.8%(65.8%)	有	
南部	小学校グラウンド（7校）	45.6%(41.0%)	有	
北部	小学校グラウンド（12校）	44.9%(58.1%)	有	
北東部	小学校グラウンド（6校）	74.9%(67.7%)	有	

※中学校グラウンドは、土日は部活動のため使用可能日・時間が限られる。また、２校を除き夜間照明を設置していないため、夜間は使用できない。

《野球・ソフトボール》

・野球、ソフトボールができる施設としては、野球場が５か所、運動場が 15 か所ある。スポーツ施設のほかでは、自然研修センター、小学校グラウンドなど、市域全域で野球、ソフトボールができる環境は整っている。

・練習はスポーツ施設のほか、小学校グラウンド、また、大会はスポーツ施設や自然研修センター、

民間施設などを利用している。
・土日の稼働率は、野球場は 40～50%、運動場は 40～60%であるが、20～30%台の運動場が一部見受けられる。
・過去 10 年間の利用者推移は、運動場については、概ね横ばい、また、野球場については、横ばい若しくは減少傾向がみられる。
・野球場や運動場の一部において、稼働率が低く、利用団体の固定化や独占的な利用が見受けられる。

《サッカー・ラグビー》
・竹ケ端運動公園陸上競技場は、市内で唯一の天然芝の施設であり、サッカーやラグビーのプロ等の試合や主要な大会が開催されている。
・そのほか、サッカーができる施設としては、手城東サッカー場、運動場のほか、自然研修センター、みらい創造ゾーン、小学校グラウンドなどの公共施設のほか、民間施設がある。
・サッカーの練習は、スポーツ施設のほか、小学校グラウンドなどで、大会はスポーツ施設のほか、民間施設、大学のグラウンドなどで行われている。
サッカーコートの面数を 2～3 面取ることができる公共の施設は、竹ケ端運動公園多目的広場しかない。また、市内には公共施設として人工芝のグラウンドがない。
・ラグビーの練習は、芦田川緑地運動場や高校グラウンドなど、また、大会は竹ケ端運動公園陸上競技場で行われている。

《陸上》
・竹ケ端運動公園陸上競技場は、日本陸上競技連盟による第 2 種公認競技場として、市内で唯一公認記録を計測できる施設である。

○ニーズ
・施設利用者アンケートでは、施設利用の満足度は 80%程度である。
一方、不満と回答した内容は、トイレや施設の老朽化であった。
・競技団体のヒアリングでは、軟式野球やソフトボールについては、トイレや側溝など改修の意見があった。
・サッカーについては、大規模大会を開催できる会場や人工芝の施設を求める声がある。
・中学校グラウンドなど夜間照明が設置されていない施設への設置について求める声がある。
・LINE アンケートによると、使いたい時にスポーツ施設の予約が取りにくいとの声や人工芝のグラウンドの整備を望む声がある。
・トイレの老朽化や駐車場の規模についての声がある。

○防災機能
・竹ケ端運動公園は、災害時の広域避難場所としての機能を有している。また、屋外のグラウンド等は、地震発生時の避難場所などの防災機能を有している。

【今後の方向性】

《野球場・運動場》

・稼働率の低い施設もあるなど、全体としてスポーツを実施する場は充足している。

・使いたい時に利用できないとの意見や、施設不足の声への対応として、土日の稼働率が概ね 50%未満の施設や特定の団体の利用にとどまっている施設についても、当面維持することとする。競技団体や地域団体等と連携しながら、施設の利用改善に向けた取組を行う。

（利用改善に向けた方策）

・全ての施設について、施設情報や公共施設予約サービスについて、様々な手段を活用し周知を図る。

・特定の団体の利用となっている施設については、当該団体と利用調整を行う。

・小中学校グラウンドを効率的に利用できる方策を検討する。

・野球場及び運動場の夜間の稼働率は平均 25%程度であり、新たな夜間照明設置については、市民や団体等のニーズを踏まえ検討することとする。

・竹ケ端運動公園野球場については、する・観るスポーツ推進の視点からも機能維持が必要である。安全性・機能性の評価が低いため、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法等を検討する。

・整備までの間、必要な安全性・機能性の改善を行うこととする。

・トイレの計画的な改修や駐車場の利用状況の把握など、利用者の利便性が高まるよう改善を行う。

《陸上競技場》

・竹ケ端運動公園陸上競技場については、陸上競技としての必要性に加え、唯一の天然芝グラウンドとして、する・観るスポーツ推進の視点からも機能維持が必要である。安全性・機能性の評価が低いため、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法等を検討する。

・また、整備の具体的な手法の検討に合わせ、公認の認定種別の変更も視野に検討する。

・整備までの間、必要な安全性・機能性の改善を行うこととする。

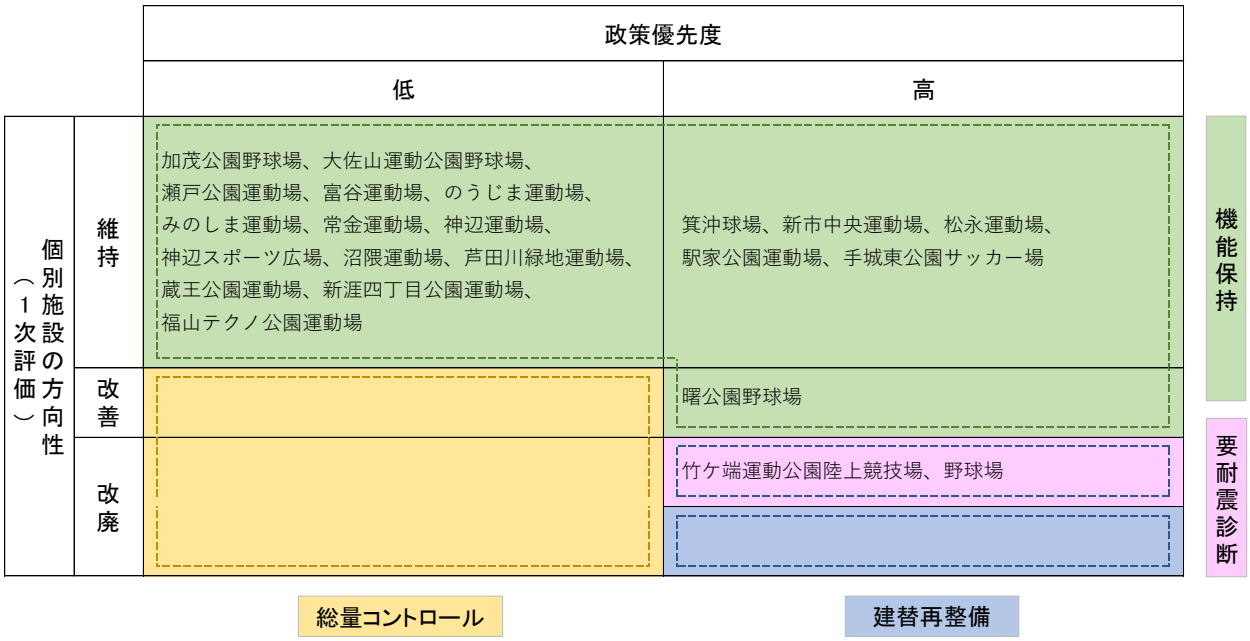
《サッカー場》

・手城東公園サッカー場については、一部が都市計画道路となる計画であり、将来、道路整備に伴い移転が必要となる。

・民間や広域での施設利用の可能性について検討する中で、整備場所、規模、人工芝の整備等について整理する。

・また、移転までの間、必要な安全性・機能性の改善を行うこととする。

【個別施設の整備方針】



③ グラウンド・ゴルフ場

【現状】

○利用状況

地域	施設名	利用状況
中央	芦田川グラウンド・ゴルフ場	・利用者数　2024年度1.0万人、2023年度1.0万人 ・全面芝張2コース
南部	沼隈グラウンド・ゴルフ場	・利用者数　2024年度1.3万人、2023年度1.5万人 ・全面芝張2コース
北部	福山市グラウンド・ゴルフ場	・利用者数　2024年度2.1万人、2023年度2.1万人 ・全面芝張7コース ・（公社）日本グラウンド・ゴルフ協会認定コース

・市グラウンド・ゴルフ協会の登録者数は年々減少しており、日本グラウンド・ゴルフ協会会員数も 2011 年度（平成 23 年度）の約 20 万人弱をピークに 2023 年度（令和 5 年度）は約 11 万人と減少している。

・協会に属していないが、グラウンド・ゴルフ場のほか、小学校のグラウンドや公共スポーツ施設（運動場）、公園、地域の広場等で競技に親しむ高齢者は多く、70～80 歳台が約 9 割を占めている。

・大会会場としては、主に公共のグラウンド・ゴルフ場で競技団体主催の大会は年 10 回程度、地域のクラブチーム等主催の大会は年 60 回程度開催されている。

・学区老人クラブ連合会がグラウンド・ゴルフ場を設置する場合、費用の一部の助成を行っている。

○ニーズ

・施設利用者アンケートでは、福山市グラウンド・ゴルフ場の施設利用の満足度は 90%程度である。

・競技団体のヒアリングでは、日常の練習は、地域の公園や小学校グラウンドなどで行い、年間 10 回程度の大会を福山市グラウンド・ゴルフ場で開催している。

○防災機能

・災害時の防災機能（避難場所等）を有していない。

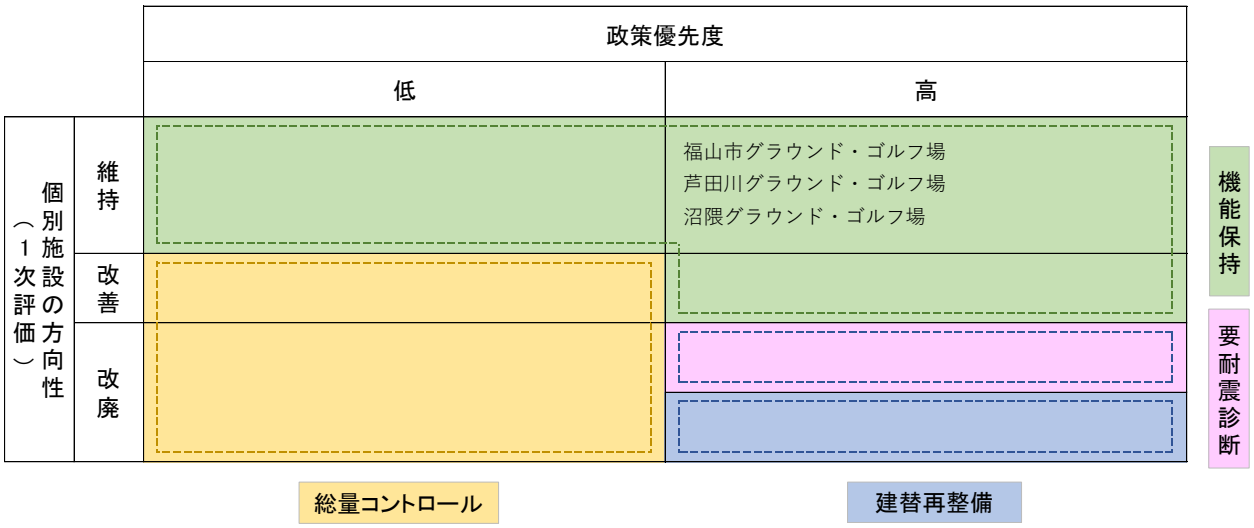
【今後の方向性】

・公共のグラウンド・ゴルフ場の役割は、誰でも気軽にグラウンド・ゴルフに親しむきっかけづくりや日頃の練習の成果を発揮する機会の提供であり、生涯スポーツの推進や健康増進の視点から、現有のグラウンド・ゴルフ場は維持する。

・グラウンド・ゴルフの日常の練習は、地域の実情に応じ、既存の施設を有効に活用し、主に高齢者の自宅に近い場所で実施されている。生きがいづくりや仲間づくりといった社会参加の促進にも繋がることから、学区老人クラブ連合会がグラウンド・ゴルフ場を設置する場合は、土地借り上げ料を助成するなど設置に至る環境づくりを進めていく。

・施設の利用改善に向けて、施設情報や公共施設予約サービスについて、様々な手段を活用し周知を図る。

【個別施設の整備方針】



④ 弓道場

【現状】

○利用状況

地域	施設名	稼働率（土日）	主な用途（大会・練	地域防災計画の位置付け	利用状況
南部	竹ケ端運動公園弓道場	57.6%（74.7%）	大会、練習	有（竹ケ端運動公園が広域避難場所）	・利用者数　2024年度1.4万人、2023年度1.4万人 ・近的6人立ち ・年間10回程度の大会を開催
北東部	神辺体育館弓道場	18.0%（12.8%）	練習	有（神辺市民交流センターが緊急避難場所）	・利用者数　2024年度2,500人、2023年度1,900人 ・近的3人立ち

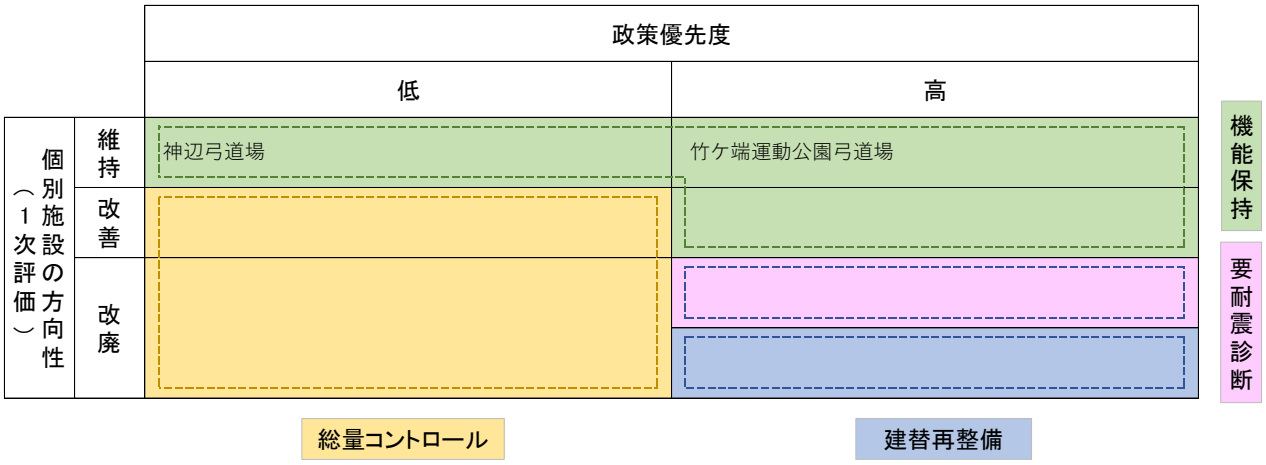
・市内に公共の弓道場は 2 施設であり、大会は竹ケ端運動公園弓道場において年 10 回程度実施している。

・両施設とも近的の施設であり、市内には遠的の施設はない。
・競技団体へのヒアリングによると、市内で遠的の競技者は 50 人程度であり、練習は、呉市や井原市の施設を利用している。
・高校の部活動の練習は、主に施設規模が大きい竹ケ端運動公園弓道場において実施し、道具を顧問が車で運搬し、生徒は自転車で移動している。
・市内でアーチェリーの練習ができる学校が 1 校あるが、一般に開放されたものではない。練習は民間施設を活用している。

○ニーズ
・競技団体からは、竹ケ端運動公園弓道場については、老朽化に伴う改修や更衣室やトイレなどの設備の充実を求める声がある。
・競技力向上のために市内に遠的のできる場の整備を求める意見がある。
・アーチェリー場の整備を求める声もある。

【今後の方向性】
・市内の練習環境の視点から、現在の施設数は最低限必要である。
・竹ケ端運動公園弓道場は、トイレや更衣室などの設備面の充実が必要であり、老朽度を踏まえ、竹ケ端運動公園全体の中で在り方を整理する。
・遠的場について、市内の競技者の状況や広域での施設利用の可能性、また、アーチェリー場との共同利用も含め検討する。

【個別施設の整備方針】



⑤ 漕艇場

【現状】

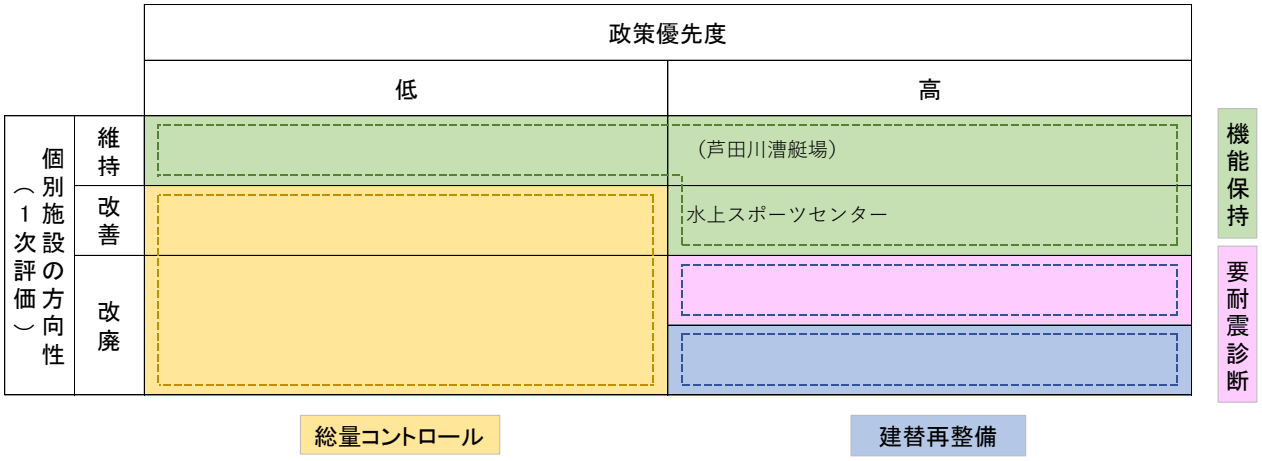
○利用状況
・1994 年（平成 6 年）開催のアジア大会に向け整備された、全国に 5 か所しかない A 級公認の漕艇場の一つであり、西日本では唯一の A 級施設である。また、2025 年度（令和 7 年度）に開催されたインターハイ（高校総体）のローイング競技会場となっている。
・練習は、毎週土日に漕艇場及び月の 3 分の 2 程度は艇庫で行われている。また、大会は、高校等の

県大会などが年間 7 回程度開催されている。
・学校の部活動はないものの、広島県主催のひろしまスポーツアカデミーの会場となっており、若干ではあるが競技人口が増加している。

【今後の方向性】

・県内では数少ない希少性のある施設のため、本市の特徴的な施設として維持する。
・A 級コースの公認を取得しているが、1994 年（平成 6 年）のアジア大会以降、国際大会は開催されていないため、公認については、大会開催の実態や関係者からの意見も勘案する中で、適切な認定種別を次回の更新時期（2028 年（令和 10 年）9 月頃）までに整理する。
・水上スポーツセンター、艇庫は、漕艇場に付随する施設として、練習やボート保管の機能を有しており、漕艇場と合わせて維持として整理する。

【個別施設の整備方針】



⑥ 水泳場

【現状】

○福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）の方向性

名称	場所	施設	再編方針
緑町公園屋内競技場	緑町	屋内	長寿命化 プールとアリーナの併用利用に加え、敷地内に屋内25m通年プールを設置しての利用
松永健康スポーツセンター	松永町	屋内	長寿命化 長寿命化を基本とし、建物全体の老朽状況を把握するなかで、移設や建替えを検討
松永グリーンパーク水泳場	松永町	屋外	廃止（2029年度までに）
深津水泳場	東深津町	屋外	廃止（2029年度までに）

○利用状況及び施設の状況

地域	施設名	利用状況
中央	緑町公園屋内競技場	・利用者数　2024年度3.8万人、2023年度2.9万人 （プール利用者に限る） ・年6回程度の大会を開催している。 ・2025年度から25m屋内プールを増設
	深津水泳場	・利用者数　2024年度1,400人、2023年度1,200人
西部	松永健康スポーツセンター	・利用者数　2024年度3.9万人、2023年度3.8万人
	松永グリーンパーク水泳場	・利用者数　2024年度3,500人、2023年度3,800人

・緑町公園屋内競技場については、2025 年度（令和 7 年度）に 25 メートルの屋内通年プールを増設し、大規模大会の開催や小学校のプール授業としての活用を図ることとしている。50 メートルプール施設状況は、設置から 30 年経過しており、設備等の更新が必要な時期を迎えている。

・松永健康スポーツセンターの利用者数は、近年は増加傾向にある。また、周囲にプール等の民間施設が少なく、西部地域の健康づくりの拠点となっているほか、小学校のプール授業での活用もされている。

施設状況は、設置から 36 年（躯体自体は築 49 年）経過し、外壁の剥離や冷暖房、給排水設備の劣化などにより施設の健全度も低い。

・松永グリーンパーク水泳場及び深津水泳場については、建物や設備の劣化が顕著な状況であり、再編方針策定以降の利用者数は横ばいである。

○ニーズ

・施設利用者アンケートによると、松永健康スポーツセンターの施設利用の満足度は、60%程度である。不満と回答した内容は、更衣室や駐車場に対するものである。

・年間通して利用できる屋内プール整備の意見がある。

【今後の方向性】

・緑町公園屋内競技場については、施設及び設備の老朽化が著しいことから、長寿命化に伴う大規模改修を行う。また、通年利用の 25 メートル屋内プールの利用拡大を図る。

・松永健康スポーツセンターについては、通年利用ができる施設であり、西部地域の拠点施設の位置付けであることや、施設の健全度も低いことから、まずは耐震診断を実施する。その結果や西部地域のスポーツ振興や広域での施設利用の観点から、必要な機能を整理し、整備の具体的な手法を検討する。

・松永グリーンパーク水泳場及び深津水泳場については、再編方針整備後も状況に変化はないことから、2029 年度（令和 11 年度）までに廃止とする。ただし、それまでの間に大規模な改修が発生した時点で廃止する。

施設名	今後の方向性
緑町公園屋内競技場	長寿命化
松永健康スポーツセンター	要耐震診断
松永グリーンパーク水泳場	廃止（2029年度までに）
深津水泳場	廃止（2029年度までに）

⑦ 庭球場

【現状】

○福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）の方向性

区域	施設名称	種類	現在のコート面数	整備後のコート面数	再編方針
中央	福山城公園庭球場	クレー	8面	10面	機能集約（2029年度までに）
	北本庄庭球場	クレー	6面		
	二の川公園庭球場	クレー	2面	2面	長寿命化
東部	福山テニスセンター	クレー	14面	8面	一部縮小（2029年度までに）
西部	松永グリーンパーク庭球場	ハード	3面	3面	長寿命化
南部	竹ケ端運動公園庭球場	人工芝	12面	16面	拠点化
	沼隈体育センター	人工芝	4面	4面	長寿命化
北部	神辺テニスセンター	人工芝	4面	4面	機能集約（2029年度までに）
	神辺運動場	クレー	3面		
	大佐山運動公園庭球場	クレー	3面	3面	長寿命化

○利用状況及び施設の状況

地域	施設名	稼働率（土日）	利用状況
中央	福山城公園庭球場	24.8% (34.0%)	・利用者数　2024年度1.7万人、2023年度2.0万人 ・一般利用、ソフトテニス専用、学校のクラブ活動 ・福山市ソフトテニス連盟の加盟団体が主に利用 ・同連盟主催の大会（年10回程度） ・中・高体連の大会（年数回程度）
	北本庄庭球場	24.5% (59.0%)	・利用者数　2024年度8,900人、2023年度7,200人 ・一般利用 ・ソフトテニス大会（年3回程度）
	二の川公園庭球場	42.7% (36.1%)	・利用者数　2024年度5,000人、2023年度4,700人 ・一般利用、硬式テニス専用 ・福山市テニス協会加盟の団体が主に利用
東部	福山テニスセンター	22.6% (35.0%)	・利用者数　2024年度1.3万人、2023年度1.3万人 ・一般利用 ・中・高総合体育大会（年6回程度） ・壁打ち用コートあり
西部	松永グリーンパーク庭球場	16.3% (31.5%)	・利用者数　2024年度1,700人、2023年度1,200人 ・一般利用、中学生（学校のクラブ仲間）の利用 ・休日にテニスサークルの利用

地域	施設名	稼働率 （土日）	利用状況
南部	竹ケ端運動公園庭球場	ー	・2023年度後半、2024年度は、庭球場整備に伴い利用中止 ・12面から20面に拡充
	沼隈体育センター	44.4% (61.4%)	・利用者数　2024年度約1.3万人、2023年度約1.2万人 ・主に一般利用 ・福山市テニス協会主催の大会（年数回）
北部	大佐山運動公園庭球場	16.8% (35.2%)	・利用者数　2024年度約2,900人、2023年度約2,800人 ・一般（主に地域）利用
北東部	神辺テニスセンター	75.9% (86.9%)	・利用者数　2024年度約2.1万人、2023年度約2.1万人 ・一般利用、地元、近隣の学校の利用 ・地元団体の大会（年数回程度）
	神辺運動場	7.3% (20.6%)	・利用者数　2024年度約2,600人、2023年度約2,200人 ・一般利用、地元・近隣の学校の利用

・竹ケ端運動公園庭球場については、屋根付きコート 4 面の増設を含め、12 面から 20 面のコート整備を行い、2024 年度（令和 6 年度）中に整備が完了した。それに伴い、2023 年（令和 5 年）10 月から整備完了まで全面の利用を休止していた。
・そのような中にあって、市内の庭球場の 2023 年度（令和 5 年度)、2024 年度（令和 6 年度）の利用人数は、前年度と比較し、増加しているものの、稼働率自体は大幅に変更がない。大規模大会は市外の施設を利用していることを考慮しても、日頃の練習は市内の施設において十分対応ができていると考える。
・北本庄庭球場については、年に数回、一般の大会が開催されているが、借地であり管理コストがかかっている。
・福山テニスセンターについては、主に中・高校生の大会が開催されているが、不陸等により、利用されていないコートがある。
・松永グリーンパーク庭球場については、西部衛生センターの屋上を活用している施設であるが、西部衛生センターは、老朽化が進んでいる。
・神辺テニスセンターの稼働率は、平日は 76%、土日は 87%と他の庭球場に比べ非常に高い。神辺運動場については、平日の利用はほとんどないものの、神辺テニスセンターの稼働率が高い土日は、20%台の稼働率であり、主に地元や近隣の学校クラブ活動や地域のスポーツ教室等が利用しており、神辺テニスセンターが利用できない場合の受け皿としての役割が大きい。

◯ニーズ

・施設利用者アンケートによると、施設利用の満足度は 60%程度である。なお、不満と回答した内容は、施設の老朽化やトイレに対するもののほか、ハードコートの必要性の意見である。
・競技団体からは、ハードコートの整備の意見や屋外トイレの洋式化、駐車場の拡張の意見がある。

【今後の方向性】

・竹ケ端運動公園庭球場の利用を全面休止した間（市全体で 47 面）にあっても、施設の土日の稼働率は 3 施設を除き 40%弱であり、施設は充足している。

・再編方針では、中央部において、福山城公園庭球場と北本庄庭球場は、2029 年度（令和 11 年度）までに機能集約を図ることにしている。竹ケ端運動公園庭球場が拠点として 20 面整備されたこと、また、管理コストの点からも、福山城公園庭球場を維持、北本庄庭球場を廃止する。なお、廃止時期については、竹ケ端運動公園庭球場の供用開始後の庭球場全体の利用状況等を踏まえ、2029 年度（令和 11 年度）までの間で検討する。

・福山テニスセンターについては、特に状態が悪いコート 6 面を廃止する。

・松永グリーンパーク庭球場については、西部地域に庭球場がないこと、市内唯一のハードコートであることから機能維持が必要である。経年劣化に対応した改修を行うこととする。なお、今後の西部衛生センターの状況も踏まえ、西部地域のスポーツ振興や広域での施設利用の観点から、機能維持の手法を検討する。

・北東部の庭球場（神辺テニスセンターと神辺運動場）については、2 施設で市民ニーズを満たしていることから、両施設とも現行の面数を維持する。

・その他の庭球場については、現行の面数を維持しながら計画的な維持修繕を行うことする。

・また、夜間照明については、施設の利用状況を見る中で順次ＬＥＤ化を進めていく。

・トイレの計画的な改修や駐車場の利用状況の把握など、利用者の利便性が高まるよう改善を行う。

地域	施設名	整備前のコート面数	整備後のコート面数	今後の方向性
中央	福山城公園庭球場	8面	8面	長寿命化
	北本庄庭球場	6面	ー	廃止（2029年度までに）
	二の川公園庭球場	2面	2面	長寿命化
東部	福山テニスセンター	14面	8面	特に状況の悪いコート6面を廃止（2029年度までに） その他のコートは長寿命化
西部	松永グリーンパーク庭球場	3面	3面	機能改修
南部	竹ケ端運動公園庭球場	12面	20面	長寿命化
	沼隈体育センター	4面	4面	長寿命化
北部	神辺テニスセンター	4面	4面	長寿命化
	神辺運動場	3面	3面	長寿命化
	大佐山運動公園庭球場	3面	3面	長寿命化

⑧ アーバンスポーツ

アーバンスポーツは、街中の遊びの中から生まれた都市型スポーツのことで、種目としては、BMX フリースタイルやスケートボード、パルクール、ローラーフリースタイル、ブレイキンなどがある（「第３期広島県スポーツ推進計画」から引用）。ストリートスポーツとも言われ、道路や公園をフィールドとするものも多い。

従来のスポーツや体育の枠組みに縛られない、遊びやカルチャーの延長線上にあるアクティビティとして、若者のスポーツ離れが危惧される中、多様な効果が期待できるスポーツである。

【市内及び近隣の状況】

（スケートボード）

・東京 2020 オリンピックの開催決定を契機に、市内における競技者は急増し、全国的にもスケートボード場の数は増加傾向にあるが、現在は微増傾向となっている。

・県内市町にも多くのスケートボード場が設置されている。また、近隣市では、倉敷市に大会開催が可能な施設があり、大規模大会が開催されている。

・市内には芦田川緑地かわまち広場のスケートボードパークに中級者エリアと初級者エリアを整備しており、登録者数は微増傾向で推移している。

（3×3 バスケットボール（3 人制バスケットボール））

・メモリアルパーク内に３×３コートがあるほか、市内の数か所の公園には、バスケットゴールを設置している。

・井原市のリフレッシュ公園内にコートがあり、福山市民も利用している。

（その他）

・東京 2020 オリンピックで行われたアーバンスポーツには、「スケートボード」、「3×3 バスケットボール」のほかに「自転車 BMX フリースタイル」、「スポーツクライミング」がある。これらについては、福山市総合体育館には、ボルダリング壁を整備しているほか、笠岡市には、かさおか太陽の広場内に BMX 自転車競技場やローラースケート場が整備されている。

○ニーズ

・施設利用者アンケートによると、スケートボード、クライミング、3×3 バスケットボール、BMX の施設不足の意見も見受けられた。

・2023 年（令和 5 年）7～8 月に西部多目的広場で実施した実証実験の際のアンケートでは、スケートボードパークを参加者の居住エリア近辺に整備してほしいという意見があった。

・LINE アンケートによると、芦田川緑地かわまち広場のスケートボードパークへの夜間照明施設設置、バスケットゴールの設置などの意見があった。

・アーバンスポーツの特性として、道路や公園を利用して活動されていることから、競技者のニーズや実態を把握しにくい現状がある。

【今後の方向性】

・アーバンスポーツの特性を踏まえ、安全性や交通秩序を守る観点から、実施できる場所を確保するとともに、マナー向上の取組を行っていく。

・そのため、スケートボードパーク及び３×３コートの施設については、市内の既存施設の利用状況や利用者の意見を把握する中で、その必要性を検討する。

・現時点でもニーズの多い、バスケットゴールの整備については、地域ニーズを踏まえ検討する。

・その他の施設については、有識者の意見も聞きながらニーズの把握を行い、備後圏域内の施設の状況を踏まえる中で、その必要性を検討する。

(3) 本市における施設の課題と解決策

①から⑧までの種別ごとの現状分析を踏まえた、本市におけるスポーツ施設整備の課題及び解決策は、次のとおりです。

計画策定後、5 年間を重点期間として解決策に沿った取り組みを行い、現状における課題の改善を図ります。

〇運動できる施設の情報発信の徹底

【課　題】稼働率の低い施設、特定の団体が利用している施設の利用改善

【解決策】稼働率が低い施設については、施設の所在地、実施可能な競技種目の情報や公共施設予約サービスについて、競技団体等への説明やホームページ、SNS 等様々な手段を活用し周知を図る。

〇スポーツ施設以外の施設の利活用の促進

【課　題】使用したい時に利用できない、施設が不足しているとの意見への対応

【解決策】・小中学校の体育館やグラウンド、公園を効率的に利用できる方策を検討
・広島県や近隣市町の運営するスポーツ施設の基本情報を共有し、広域的に連携して活用する方策を検討する。

〇利用調整

【課　題】特定の団体が利用している施設の利用調整
稼働率の向上につながる利用時間の設定

【解決策】・特定団体の利用となっている施設については、様々な団体で利用されるよう、利用団体と利用調整を行う。
・小中学校の体育館など地域団体の利用希望が多いものについては、利用時間の設定の工夫など効率的な運用の方法を検討する。

〇適切な受益者負担

【課　題】経済性の低い施設や使用料を減免している施設の適正な受益者負担

【解決策】運営コストや利用状況を把握する中で、公平かつ適正な負担の視点から料金設定や減免制度の見直しを行う。

〇広域連携によるスポーツ機会の提供

【課　題】近隣市町のスポーツ施設やスポーツ教室をはじめとするイベント等の情報提供

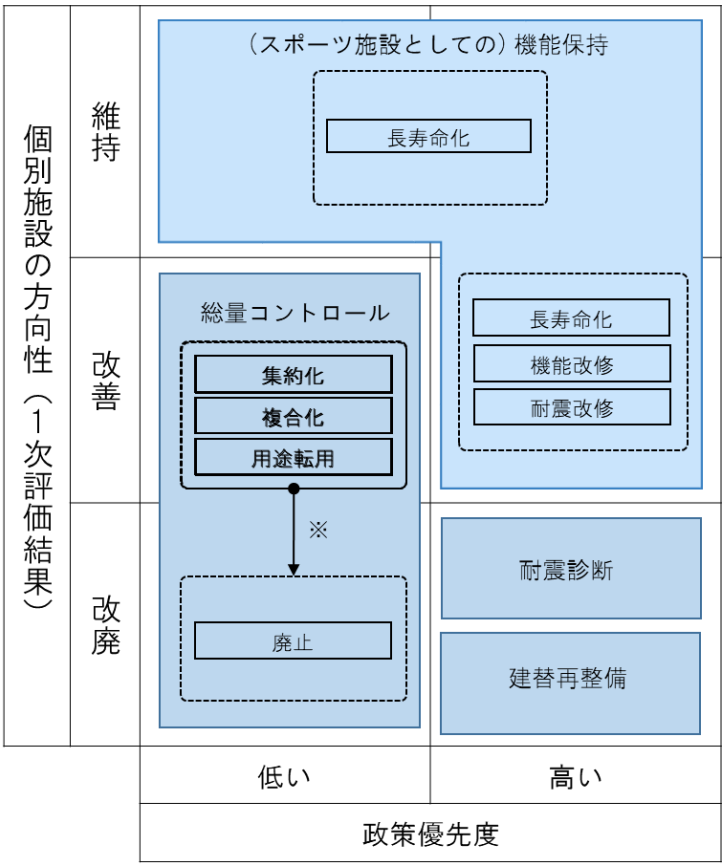
【解決策】施設の利用促進やスポーツ機会の提供、集客増加などの効果を図るため、備後圏域市町にあるスポーツ施設やスポーツイベント等の情報を圏域内の市民に共有できる方策を検討する。

第4章　個別施設計画

1 適用可能な手法の選定（適用手法の検討）

スポーツ施設の整備方針に基づき、個別施設に適用可能な手法及び今後の具体的な実施内容を検討しました。適用可能な手法については、スポーツ施設の整備方針（2 次評価）マトリクスで整理したものに基づき、施設ごとに検討しました。

［適用手法の検討マトリクス］



※ 地域性（必要性やニーズ等）を勘案し、集約化・複合化・用途転用の可能性がない場合

(1) スポーツ施設としての機能保持における適用手法

機能保持における適用手法の考え方は下表のとおりとします。「長寿命化」「機能改修」「耐震改修」は、個別施設の方向性の結果に基づき選択します。

1 次評価の結果から「改廃」となった施設のうち、政策優先度が高い施設については、「耐震診断」「建替再整備」とします。

手法	内容
耐震診断	耐震診断を行い、建替え再整備を含めた今後の整備手法を検討する。
機能改修	経年劣化や社会的変化に対応した改修を行う。
長寿命化 （計画的保全）	建物の耐用年数を定め、その期間適切な施設の保全が行われるよう、計画的な対応を行う。
耐震改修	建物の耐震性を確保するために改修を行う。
建替再整備	同等の機能を有する施設を整備する。

(2) 総量コントロールにおける適用手法

総量コントロールにおける適用手法の考え方は下表のとおりとします。

個別施設の方向性が「改善」となった施設について、地域性、ニーズ等を勘案し、「集約化」「複合化」「用途転用」の可能性がない場合は、改修費をかけずに「廃止」とします。

手法	内容
集約化	既存の同種の施設を統合する。
複合化	他の機能を有する施設と複合化する。
用途転用	施設を改修し、他の施設として利用する。
廃止	施設の機能を廃止する。

2 個別施設計画の取りまとめ

個別施設ごとに適用可能な手法を検討するとともに、今後の施設の運用、維持管理、整備に関する計画を作成し、個別施設計画として取りまとめました。

［適用手法の結果一覧］

種別	施設名	適用手法
体育館	総合体育館	**長寿命化**
	緑町公園屋内競技場	**長寿命化**
	沼隈体育館	**機能改修**
	新市スポーツセンター	**長寿命化**
	障害者体育センター	**耐震診断**
	神辺体育館	**長寿命化**
野球場	竹ケ端運動公園野球場	**耐震診断**
	箕沖球場	**長寿命化**
	曙公園野球場	**機能改修**
	加茂公園野球場	**長寿命化**
	大佐山運動公園野球場	**長寿命化**
運動場	瀬戸公園運動場	**長寿命化**
	富谷運動場	**長寿命化**
	のうじま運動場	**長寿命化**
	みのしま運動場	**長寿命化**
	松永運動場	**長寿命化**
	新市中央運動場	**長寿命化**
	常金運動場	**長寿命化**
	神辺運動場	**長寿命化**
	神辺スポーツ広場	**長寿命化**
	沼隈運動場	**長寿命化**
	芦田川緑地運動場	**長寿命化**
	蔵王公園運動場	**長寿命化**
	新涯四丁目公園運動場	**長寿命化**
	駅家公園運動場	**長寿命化**
	福山テクノ公園運動場	**長寿命化**
陸上競技場	竹ケ端運動公園陸上競技場	**耐震診断**
サッカー場	手城東公園サッカー場	**長寿命化**
グラウンド・ゴルフ場	福山市グラウンド・ゴルフ場	**長寿命化**
	芦田川グラウンド・ゴルフ場	**長寿命化**
	沼隈グラウンド・ゴルフ場	**長寿命化**
弓道場	竹ケ端運動公園弓道場	**長寿命化**
	神辺弓道場	**長寿命化**
漕艇場	芦田川漕艇場	**長寿命化**
	竹ケ端運動公園水上スポーツセンター	**機能改修**

種別	施設名	適用手法
水泳場	緑町公園屋内競技場	**長寿命化**
	松永健康スポーツセンター	**耐震診断**
	松永グリーンパーク水泳場	**廃止**
	深津水泳場	**廃止**
庭球場	竹ケ端運動公園庭球場	**長寿命化**
	福山城公園庭球場	**長寿命化**
	北本庄庭球場	**廃止**
	二の川公園庭球場	**長寿命化**
	福山テニスセンター	**長寿命化（一部縮小）**
	松永グリーンパーク庭球場	**機能改修**
	沼隈体育センター	**長寿命化**
	神辺運動場	**長寿命化**
	神辺テニスセンター	**長寿命化**
	大佐山運動公園庭球場	**長寿命化**

【個別施設計画の詳細】

（1）体育館

施設	**総合体育館**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	高	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・年間 80 回程度の大規模大会が開催されており、稼働率は、年間 83%、土日は 93%である。 ・屋内スポーツ活動の拠点施設であり、整備から 5 年経過と新しい施設であるため、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	部位修繕（外壁等）		

施設	**緑町公園屋内競技場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	高	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・夏期はプール、夏期以外はアリーナとして利用されており、稼働率は、年間 78%、土日は 94%である。 ・築 30 年が経過し施設及び設備の老朽化が激しいため、大規模な改修を行い、長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	長寿命化改修		
	2035～2044 年度	―		

施設	沼隈体育館			
1次評価	施設の方向性	改善		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	機能改修			
	・観客席を備え、バスケットボールをはじめ卓球などの大会が開催されており、稼働率は、年間 74%、土日は 92%である。 ・外壁の劣化や雨漏りなどの箇所について、必要な改修を実施する。 ・施設の利用用途、利用者数、稼働率、防災上の位置付けなどを総合的に判断し、空調設備の整備を検討する。 （2007 年度・2008 年度、全面的な耐震改修工事実施済）			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（外壁等）		
	2035～2044 年度	長寿命化改修		

施設	新市スポーツセンター			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・フットサル、卓球などの練習で利用されており、稼働率は、年間 47%、土日は 76%である。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。 ・施設の利用用途、利用者数、稼働率、防災上の位置付けなどを総合的に判断し、空調設備の整備を検討する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（外壁等）		
	2035～2044 年度	部位修繕（設備）		

施設	障害者体育センター			
1次評価	施設の方向性	改廃		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	要耐震診断
適用手法	耐震診断			
	・主に、障がい者のスポーツをする場として役割を担っており、機能維持が必要である。稼働率は、年間 92%、土日は 90%である。 ・築 48 年経過しており、安全性・機能性の評価が低いため、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法等を検討する。 ・当施設の近隣には、総合体育館、緑町公園屋内競技場があることや、現状の敷地では駐車場の課題もあることから、整備の具体的な手法等の検討にあたっては、立地及び機能を整理する必要がある。なお、整備までの間は、利用者の安全性のため、最低限の安全性・機能性の改善を行うこととする。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	耐震診断		
	2035～2044 年度	―		

施設	神辺体育館			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・卓球、フットサルなどの大会や練習で利用されており、稼働率は、年間 56%、土日は 62%である。 ・整備から 9 年経過と新しい施設であるため、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。 ・施設の利用用途、利用者数、稼働率、防災上の位置付けなどを総合的に判断し、空調設備の整備を検討する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	部位修繕（外壁等）		

（2）野球場

施設	竹ケ端運動公園野球場			
1次評価	施設の方向性			
2次評価	政策優先度		整備方針	
適用手法	（11）竹ケ端運動公園へ記載			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度			
	2035～2044 年度			

施設	箕沖球場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・野球とソフトボールで年間 80 回以上の大会が開催されており、稼働率は年間 24%、土日は 53%である。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（管理棟の外壁等）		
	2035～2044 年度	長寿命化改修（管理棟）、改築（便所）		

施設	曙公園野球場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	低	整備方針	機能保持
適用手法	機能改修			
	・主に、軟式野球で利用されており、稼働率は年間 25%、土日は 50%である。 ・管理棟（バックネット含む）について、耐震性がなく、建物内外の劣化など健全度が低いため、長寿命化改修を実施する。また、トイレ改修等、利用者の利便性向上に向け実施する。			

施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	長寿命化改修（管理棟）、部位修繕（便所）
	2035～2044 年度	―

施設	加茂公園野球場			
1 次評価	施設の方向性	維持		
2 次評価	政策優先度	低	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に、軟式野球で利用されており、稼働率は、土日は 44%であるが、年間では 18%となっている。 ・必要な改修を行い、長寿命化を図る。 ・特定団体の使用が見受けられるため、利用拡大に向けた改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	大規模改修（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	大佐山運動公園野球場			
1 次評価	施設の方向性	維持		
2 次評価	政策優先度	低	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に、軟式野球で利用されており、稼働率は、土日は 44%であるが、年間では 23%となっている。 ・管理棟の屋外階段や空調設備の劣化があるため、改修を実施し、長寿命化を図る。 ・特定団体の使用が見受けられるため、利用拡大に向けた改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（管理棟の設備、外壁等、便所）		
	2035～2044 年度	長寿命化改修（管理棟）		

（3）運動場

施設	瀬戸公園運動場			
1 次評価	施設の方向性	維持		
2 次評価	政策優先度	低	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に地域の団体が、ソフトボールやグラウンド・ゴルフで利用しており、稼働率は年間 33%、土日は 44%となっている。 ・地域利用が主になっているため、地域以外の利用の拡充も図る。 ・フェンスの劣化があるため、改修を行い、長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	大規模改修（便所）、部位修繕（フェンス等）		
	2035～2044 年度	―		

施設	富谷運動場	
1 次評価	施設の方向性	維持

２次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に、ソフトボールや野球、グラウンド・ゴルフなどで利用されており、稼働率は、土日は 39%であるが、年間では 15%となっている。 ・必要な修繕を行い、長寿命化を図る。 ・利用が低調なため、利用拡大に向けた改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	改築（便所）		

施設	**のうじま運動場**			
１次評価	**施設の方向性**	維持		
２次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に、グラウンド・ゴルフやソフトボール、サッカーなどで利用されており、稼働率は年間 43%、土日は 39%である。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	改築（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	**みのしま運動場**			
１次評価	**施設の方向性**	維持		
２次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・土日は、ソフトボールや野球の利用があるが、平日の利用はされていない。稼働率は年間 15%、土日は 46%である。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	改築（便所）		

施設	**松永運動場**			
１次評価	**施設の方向性**	維持		
２次評価	**政策優先度**	高	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に野球やグラウンド・ゴルフ、サッカーなどで利用されており、稼働率は年間 39%、土日は 60%である。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（便所）		

時期・内容	2035～2044 年度	―

施設	**新市中央運動場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	高	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・平日は、ソフトボールとグラウンド・ゴルフ、土日は、軟式野球とサッカーなどで利用されており、稼働率は年間 33%、土日は 52%である。 ・便所床の劣化がみられるものの、安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	**常金運動場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に、軟式野球で利用されており、稼働率は年間 22%、土日は 53%である。 ・特定団体の使用が見受けられるため、利用拡大に向けた改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	**神辺運動場**			
1 次評価	**方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・硬式・軟式野球やソフトボール、サッカーで利用されており、稼働率は年間 26%、土日は 56%である。 ・土日は特定団体の使用が見受けられるため、利用拡大に向けた改善を実施する。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（更衣室外壁等、便所）、改築（更衣室）		
	2035～2044 年度	―		

施設	**神辺スポーツ広場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			

	・土日は、ソフトボールとサッカーでの利用となっており、平日の利用はされていない。稼働率は年間 15%、土日は 42%である。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	大規模改修（便所）
	2035～2044 年度	―

施設	**沼隈運動場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に、軟式野球とサッカーで利用されており、稼働率は年間 23%、土日は 58%である。 ・土日は特定団体の使用が見受けられるため、利用拡大に向けた改善を実施する。 ・安全性・機能性の健全度は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	**芦田川緑地運動場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・7 か所ある運動場は、野球やサッカーで利用されており、全体の稼働率は年間 20%、土日は 28%である。 ・当面、利用拡大を図るなどの改善を実施するが、改善されない場合は、占用許可の変更により面数を減らすことを検討する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	―		

施設	**蔵王公園運動場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	低	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主にサッカーやソフトボールで利用されており、稼働率は、土日は 27%であるが、年間は 10%である。 ・利用が低調なため、利用拡大に向けた改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	新涯四丁目公園運動場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	低	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主に土日はソフトボール、平日はサッカーで利用されており、稼働率は、土日は 40 であるが、年間は 15%である。 ・修繕を実施し長寿命化を図る。 ・併せて利用拡大を図るなどの改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	―		

施設	駅家公園運動場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主にサッカーやグラウンド・ゴルフ、ソフトボールなどで利用されており、稼働率は年間 42%、土日は 52%である。 ・施設の状態は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（便所）		
	2035～2044 年度	―		

施設	福山テクノ公園運動場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	低	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・主にソフトボールで利用されており、稼働率は年間 15%、土日 47%である。 ・施設の状態は良好であり計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。 ・併せて、利用拡大を図るなどの改善を実施する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	大規模改修（便所）		
	2035～2044 年度	―		

（4）陸上競技場

施設	竹ケ端運動公園陸上競技場			
1次評価	施設の方向性			
2次評価	政策優先度		整備方針	
適用手法	（11）竹ケ端運動公園へ記載			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度			
	2035～2044 年度			

(5) サッカー場

施設	手城東公園サッカー場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・市内で唯一のサッカー専用場であり、稼働率は年間 17%、土日は 43%である。 ・将来的に一部が都市計画道路となる予定であり、道路整備に伴い移転が必要となるが、時期は未定であるため、必要な修繕を実施し、利用者の安全性・機能性の改善を行うこととする。 ・移転を検討する際は、市内での整備場所についての具体を別に検討する中で整備場所に加え、練習や大会のための環境整備や怪我予防の観点等から人工芝の整備等についても検討する。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（フェンス等）		
	2035～2044 年度	ー		

(6) グラウンド・ゴルフ場

施設	福山市グラウンド・ゴルフ場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・7 コース全面天然芝張りの（公財）日本グラウンド・ゴルフ協会認定コースを有し、年間利用者数は減少傾向にあるが、年間 21,000 人程度の利用がある。 ・施設の状態は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	部位修繕（クラブハウスの外壁等）		
	2035～2044 年度	部位修繕（クラブハウスの設備、便所）		

施設	芦田川グラウンド・ゴルフ場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・全面天然芝張りの 2 コースを有し、年間 10,000 人程度の利用がある。 ・施設の状態は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	―		

施設	沼隈グラウンド・ゴルフ場			
1次評価	方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			

	・全面天然芝張りの 2 コースを有し、年間 14,000 人程度の利用がある。 ・施設の状態は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

（7）弓道場

施設	**竹ケ端運動公園弓道場**			
1 次評価	**施設の方向性**			
2 次評価	**政策優先度**		**整備方針**	
適用手法	（11）竹ケ端運動公園へ記載			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度			
	2035～2044 年度			

施設	**神辺弓道場**			
1 次評価	**施設の方向性**	維持		
2 次評価	**政策優先度**	高	**整備方針**	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・神辺市民交流センターに併設する近的 3 人立ちの施設であり、稼働率は年間 18%、土日 13%。主に練習で年間 2,200 人が利用している。 ・施設の状態は良好であり、計画的な予防保全を行いながら長寿命化を図る。			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	―		
	2035～2044 年度	部位修繕（外壁等）		

（8）漕艇場

施設	**漕艇場、竹ケ端運動公園水上スポーツセンター**			
1 次評価	**施設の方向性**			
2 次評価	**政策優先度**		**整備方針**	
適用手法	（11）竹ケ端運動公園へ記載			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度			
	2035～2044 年度			

（9）水泳場

施設	**緑町公園屋内競技場（屋内水泳場）**
適用手法	長寿命化

	・50 メートルプール及び飛込プールは、夏期のみの利用で 28,000 人が利用している。 ・施設及び設備の老朽化が著しいことから、長寿命化に伴う大規模改修を行う。 ・2025 年度（令和 7 年度）供用開始の通年利用の 25 メートル屋内プール及び飛込練習室の利用拡大を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	長寿命化改修
	2035～2044 年度	―

施設	**松永健康スポーツセンター**			
1 次評価	**施設の方向性**	改廃		
2 次評価	**政策優先度**	高	**整備方針**	要耐震診断
適用手法	耐震診断			
	・通年利用ができる施設であり、プールは年間 18,000 人が利用している。また、トレーニングルームを併設し、年間 5,000 人が利用している。 ・プールは、近隣の小学校の授業としての活用もある。また、近隣する尾道市の東部地域にプールがないため、尾道市民の利用もある。 ・設置から 36 年（躯体自体は 49 年）経過し全体的に老朽化が進んでおり、冷暖房や給排水設備等の劣化がみられる。 ・西部地域の拠点施設の位置付けであり、スポーツ振興の視点から機能維持が必要である。 ・施設の健全度も低いことから、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法を検討する。検討にあたっては、広域的な視点も踏まえ、施設に含める機能等について整理する。 ・外壁の剥離や冷暖房、給排水設備の劣化がみられることから、整備までの間は、利用者の安全性のため、必要な修繕等を実施する。 （増築したプール部分は新耐震）			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	耐震診断		
	2035～2044 年度	―		

施設	**松永グリーンパーク水泳場**
適用手法	廃止（2029 年度までに）
	・松永健康スポーツセンターから約 900ｍの近接した場所にあり、夏期のみ利用ができる。幼児用プールを併設しているため、親子利用の多い施設であり、3,700 人が利用している。尾道市からの利用もある。 ・施設及び設備の老朽化が著しいことから、2029 年度（令和 11 年度）までに廃止とする。ただし、それまでの間に大規模な改修が発生した時点で廃止する。

施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

施設	深津水泳場	
適用手法	廃止（2029 年度までに）	
	・使用料の設定がなく、主に地域住民が利用している施設である。夏期のみの利用で、年間 1,200 人が利用している。 ・施設及び設備の老朽化が著しいことから、2029 年度（令和 11 年度）までに廃止とする。ただし、それまでの間に大規模な改修が発生した時点で廃止する。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

（10）庭球場

施設	竹ケ端運動公園庭球場	
適用手法	（11）竹ケ端運動公園へ記載	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	
	2035～2044 年度	

施設	福山城公園庭球場	
適用手法	長寿命化	
	・ソフトテニスで利用されており、稼働率は、平日は 25%、土日は 34%である。特に午前は 70%を超えている。年間 10 回程度の大会を開催されている。 ・築 51 年を経過しており、老朽化に伴い夜間照明などの設備面に劣化があり、改修等による長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	長寿命化改修（管理棟）
	2035～2044 年度	―

施設	北本庄庭球場	
適用手法	廃止（2029 年度までに）	
	・ソフトテニス、硬式テニスの練習で利用されており、稼働率は、土日は 59%であるが、平日は 25%である。福山城公園庭球場との 2 会場を使用したソフトテニスの大会が年 3 回開催されている。 ・竹ケ端運動公園庭球場が拠点として 20 面整備されたこと、また、管理コストの点からも廃止とする。なお、竹ケ端運動公園庭球場の供用開始後の庭球場全体の利用状況等を踏まえ、2029 年度（令和 11 年度）までの間で廃止時期について検討する。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

施設	二の川公園庭球場
適用手法	長寿命化

	・硬式テニス専用で利用されており、稼働率は平日が 43%、土日が 36%である。 ・設備の計画的な更新とコートの定期的なメンテナンスにより、長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	部位修繕（フェンス、門扉）、改築（管理棟）
	2035～2044 年度	―

施設	**福山テニスセンター**	
適用手法	長寿命化（一部縮小）	
	・ソフトテニス、硬式テニスで利用されており、稼働率は平日が 23%、土日が 35%である。 ・地盤沈下による不陸や、排水不良などの問題があるコートがある。特に状態が悪い不陸コート 6 面を廃止し、その他のコートは定期的なメンテナンス等により長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	長寿命化改修（管理棟）、大規模改修（便所）、部位修繕（フェンス、門扉）
	2035～2044 年度	―

施設	**松永グリーンパーク庭球場**	
適用手法	機能改修	
	・市内唯一のハードコートであり、機能維持が必要である。稼働率は、平日 16%、土日は 32%である。 ・西部地域に庭球場がないこと、市内唯一のハードコートであることから機能維持が必要であるため、今後、必要な改修を行う。なお、今後の西部衛生センターの状況も踏まえ、西部地域のスポーツ振興や広域での施設利用の観点から、機能維持の手法を検討する。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	部位修繕（フェンス）
	2035～2044 年度	―

施設	**沼隈体育センター**	
適用手法	長寿命化	
	・稼働率は、平日が 44%、土日が 61%である。 ・コートの状態は良好であり、今後も設備の計画的な更新や施設の修繕を行うなどにより、長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	部位修繕（管理棟の外壁等）
	2035～2044 年度	人工芝張替、長寿命化改修（管理棟）

施設	**神辺テニスセンター**
適用手法	長寿命化

	・稼働率は、平日 76%、土日が 87%と非常に高い。 ・コートの状態は良好であり、今後も設備の計画的な更新や施設の修繕を行うなどにより、長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	人工芝張替、部位修繕（管理棟の設備）
	2035～2044 年度	長寿命化改修（管理棟）

施設	**神辺運動場**	
適用手法	長寿命化	
	・平日の利用は少なく、土日も 20%程度と低い稼働率であるが、神辺テニスセンターが利用できない場合の受け皿ともなっている。 ・神辺テニスセンターの稼働率を定期的に把握する中で、設備の計画的な更新とコートの定期的なメンテナンスにより、長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

施設	**大佐山運動公園庭球場**	
適用手法	長寿命化	
	・稼働率は、平日は 17%、土日は 35%である。 ・コートの状態は良好であり利用拡大を図りながら、必要な改修を実施し、長寿命化を図る。	
施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

（11）竹ケ端運動公園

竹ケ端運動公園には、陸上競技場、野球場、庭球場、弓道場、水上スポーツセンターを設置しており、様々な競技における大会や練習など「する」スポーツの場、サッカーやラグビーなどのプロスポーツなど「観る」スポーツの場として市民に親しまれています。

そうした中、2025 年度（令和 7 年度）にリニューアルオープンした庭球場を除き、建築後約 40 年から 50 年経過しており、施設の老朽化や時代のニーズの変化に対応できていない部分が生じてきています。本計画の評価において政策優先度は高く、本市における屋外スポーツ施設が集積した拠点エリアであることから、竹ケ端運動公園全体の在り方を検討するなど、スケジュールを含め整理する必要があります。

施設	竹ケ端運動公園野球場			
1 次評価	施設の方向性	改廃		
2 次評価	政策優先度	高	整備方針	要耐震診断
適用手法	耐震診断			
	・市内で唯一観覧スタンド等を有する施設である。年間 70 回程度大会が開催されており、する・観るスポーツ推進の視点から機能維持が必要である。稼働率は年間 35%、土日は 56%である。 ・築 51 年が経過しており老朽化に加え、旧耐震の施設で耐震性に問題がある。外壁の剥落や内装の剝がれ、設備の劣化など安全性・機能性の評価が低い。 ・そのため、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法を検討する。なお、整備までの間は、利用者の安全性のため、必要な修繕等を実施する。 （増築した 1 塁側、3 塁側観覧スタンドは新耐震）			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	耐震診断		
	2035～2044 年度	―		

施設	竹ケ端運動公園陸上競技場			
1 次評価	施設の方向性	改廃		
2 次評価	政策優先度	高	整備方針	要耐震診断
適用手法	耐震診断			
	・市内で唯一の陸上競技場であり、（公財）日本陸上競技連盟による第 2 種公認競技場であり、第 2 種公認が必要な大会は、年間で数回開催されている。また、市内で唯一の天然芝を有する施設であり、陸上のほか、サッカー、ラグビーはプロ等の主要な大会等が年間 70 回程度開催されるなど、する・観るスポーツ推進の視点から機能維持が必要である。稼働率は年間 76%、土日 84%である。 ・築 47 年が経過しており、旧耐震の施設で耐震性に問題がある。外壁等のクラックや剥がれ、設備の劣化が著しい。そのため、まずは耐震診断を実施し、その結果と合わせ、整備の具体的な手法を検討する。 ・整備の具体的な手法については、公認の認定種別の検討のほか、竹ケ端運動公園全体を含めた総合的な検討を行うこととする。なお、整備までの間は、利用者の安全性のため、必要な修繕等を実施する。 （増築したメインスタンド北側のスタンド及び、南側の倉庫は新耐震）			
施設整備の時期・内容	期間	内容		
	2025～2034 年度	耐震診断		
	2035～2044 年度	―		

施設	竹ケ端運動公園弓道場			
1次評価	施設の方向性	維持		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	長寿命化			
	・近的 6 人立ちの施設であり、年間 10 回程度の大会を開催している。稼働率は年間 58%、土日 75%である。年間 14,000 人程度の利用がある。 ・築 37 年が経過しており、トイレや更衣室などの設備面の充実が必要であり、長寿命化を基本とする。しかしながら、増築の対応が困難であることから、竹ケ端運動公園全体の中で在り方を整理する。 ・遠的場の整備についても、広域での施設利用の可能性を含めて検討する。 ・整備までの間は、必要な修繕等を実施し改善を図る。			

施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	―
	2035～2044 年度	―

施設	漕艇場、竹ケ端運動公園水上スポーツセンター			
1次評価	施設の方向性	改廃		
2次評価	政策優先度	高	整備方針	機能保持
適用手法	機能改修			
	・（公財）日本ローイング協会公認 A 級コースを有する希少性のある施設であり、本市の特徴的な施設として維持する。水上スポーツセンター、艇庫は、付随する施設として、練習やボート保管の機能を有しており、漕艇場と合わせ維持する。 ・大会は年 7 回程度開催され、練習等は土日の漕艇場のほか平日は艇庫においても実施している。 ・A 級コースの公認を取得しているが、1994 年（平成 6 年）のアジア大会以降、国際大会は開催されていないため、適切な認定種別について次回の更新時期までに整理する。 ・水上スポーツセンターの屋根の劣化や雨漏りなどの箇所について、必要な改修を実施する。			

施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	長寿命化改修（管理棟、旧艇庫）
	2035～2044 年度	―

施設	竹ケ端運動公園庭球場
適用手法	長寿命化
	・2025 年度（令和 7 年度）4 月、市内庭球場の拠点施設として、12 面から 20 面に拡充した。 ・設備の計画的な更新とコートの定期的なメンテナンスにより、長寿命化を図る。

施設整備の時期・内容	期間	内容
	2025～2034 年度	人工芝張替（8 面）
	2035～2044 年度	人工芝張替（12 面）

第5章　個別施設計画の実施方法

1 推進・取組体制

本計画の推進にあたっては、指定管理者、スポーツ関係団体、関係機関等と連携を図るとともに、スポーツ施設として利用可能な施設を所管する庁内関係部局、公共施設の適正管理を所管する庁内関係部局のほか、備後圏域内の関係部局と連絡・調整を図り、市民が身近にスポーツを実施できる体制を整えていきます。

2 情報共有

○多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、施設やスポーツ教室などの情報を分かりやすく情報提供します。

○スポーツ施設の満足度や利用ニーズ状況を把握するとともに、市民、スポーツ関連団体等との情報交換等に取り組みます。

3 フォローアップ

○本計画の進捗状況の確認や施設の状況を定期的に把握し、PDCA サイクルによる計画の進行管理に努めます。

○国の政策、社会経済情勢、地域の人口構成及びニーズ等の変化に応じ、必要に応じて本計画を見直します。なお、見直しにあたっては、市民や利用者、スポーツ関係団体等からの意見徴収やスポーツ振興審議会の意見を踏まえ、改定を行うこととします。

4 財源確保

○必要と判断された公共施設の改修等の経費について、公共施設維持整備基金等への計画的な積立てや、国や県の補助金等を最大限活用するほか、公共施設等適正管理推進事業債等の有効活用により、必要となる財源の確保に努めます。

○ネーミングライツや施設への広告事業、ふるさと納税、企業版ふるさと納税などにより、新たな財源の確保に努めます。

○必要な施設を持続的に提供していくためには、利用者に対しても利用する施設から受ける便益に対して相応な負担を求めることが必要となります。運営コストや利用者など運営状況を的確に把握し、公平かつ適正な負担の視点から料金設定や減免制度の見直しを行い、公共施設等の目的や利用状況に応じた受益者負担の在り方について検討します。

資料編

スポーツ施設の在り方等に関する市民の意見

スポーツに親しむ環境や施設の在り方に関する市民意見を把握するため、市民アンケートや各種団体等へのヒアリングと意見交換を実施しました。実施概要とアンケート等の分析は次のとおりです。

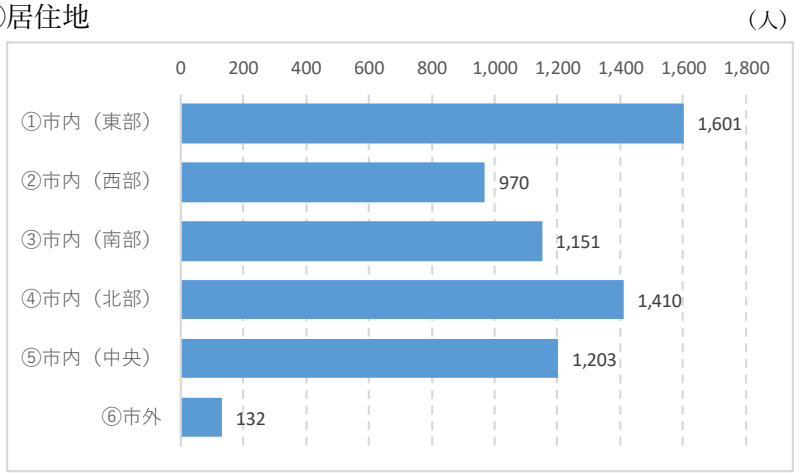
(1) ＬＩＮＥアンケート

■実施概要

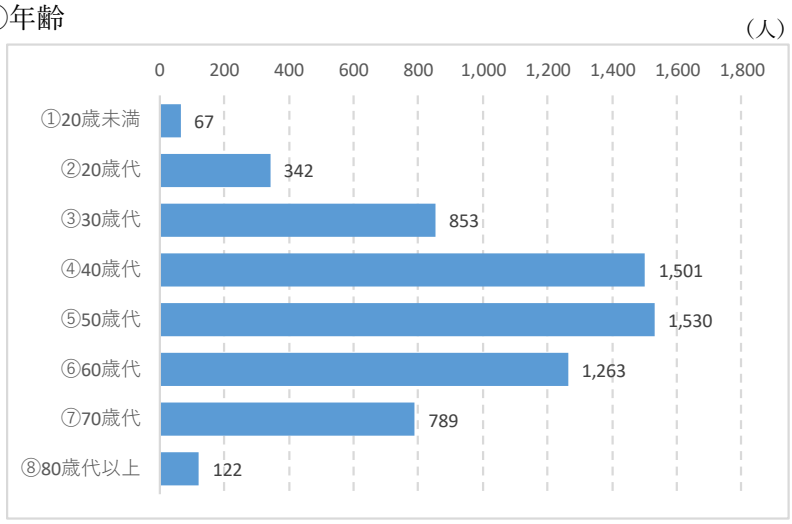
調査目的	市民のだれもが気軽にスポーツに親しむことができるよう、身近にスポーツに親しめる環境について、市民のスポーツの実施状況、施設の利用実態や満足度などを把握するため LINE アンケートを実施
調査対象	2024 年（令和 6 年）11 月 18 日時点において福山市公式ＬＩＮＥに登録している人
調査期間	2024 年（令和 6 年）11 月 18 日から 11 月 24 日まで
調査方法	ＷＥＢ調査（福山市公式ＬＩＮＥ登録者へのアンケート調査）
回答者数	6,467 人

■アンケート結果

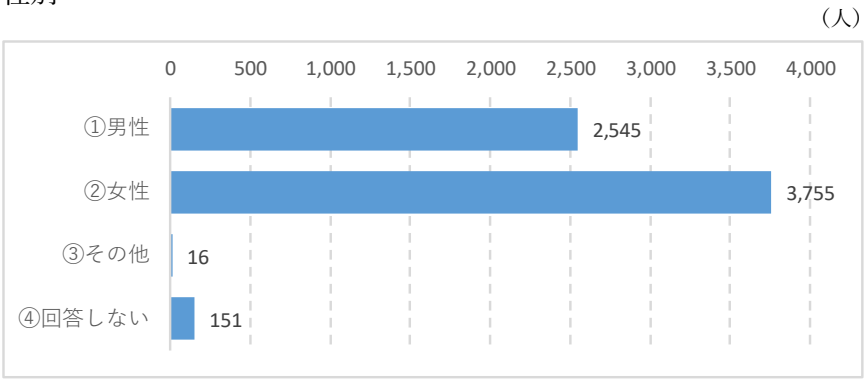
①居住地



②年齢

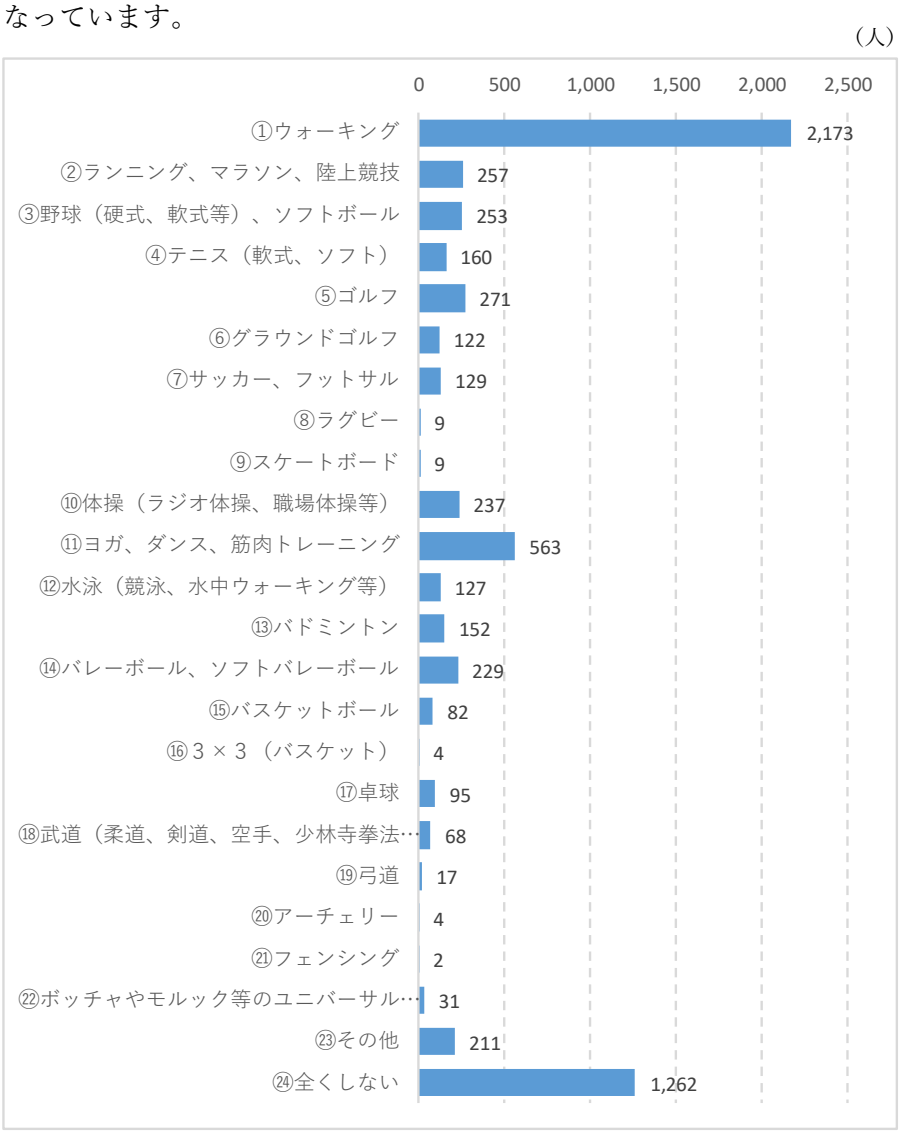


③性別



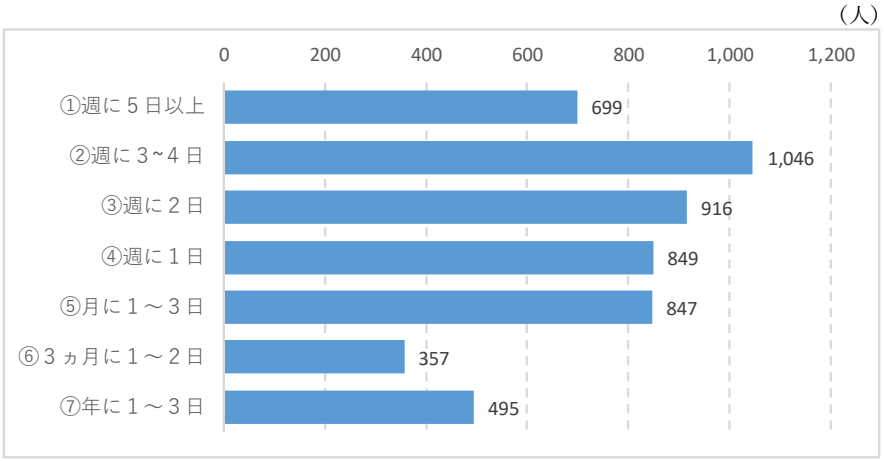
④この１年間に行った運動やスポーツの中で主に実施したもの

この１年間に行った運動やスポーツは、「ウォーキング」と回答した人が最も多く、2,173 人となっています。



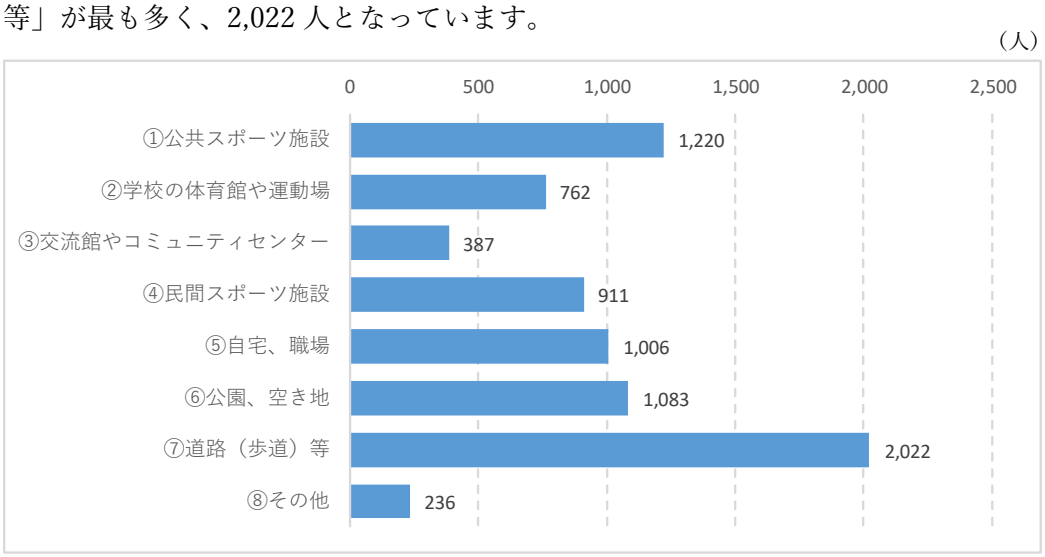
⑤その運動やスポーツをこの 1 年間に実施した頻度

この 1 年間での運動やスポーツを実施した日数は、「週 3～4 日」と回答した人が最も多く、1,046 人となっています。また、週 1 回以上実施した人の割合は 54.3%となっています。



⑥どこでその運動やスポーツをしたか（3 つまで）

運動やスポーツをしている場所は、「ウォーキング」の実施が多いことから、「道路（歩道）等」が最も多く、2,022 人となっています。

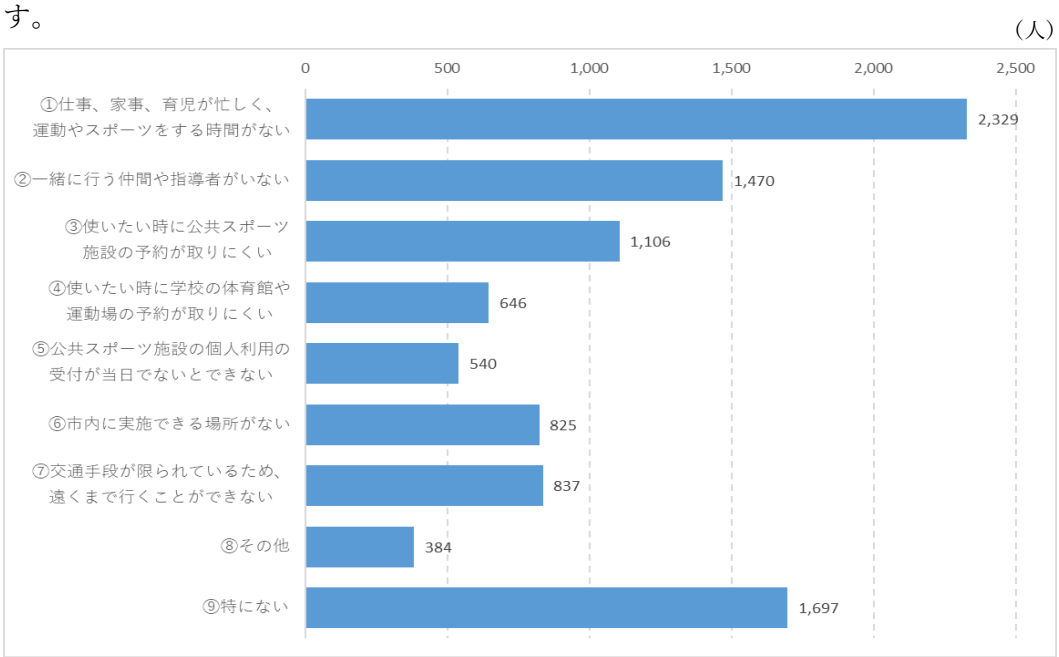


運動やスポーツの実施場所は、公共スポーツ施設全般において多く実施されていますが、種目によっては、学校の体育館や運動場、交流館やコミュニティセンター、公園や空き地等においても実施されています。

	①公共スポーツ施設	②学校の体育館や運動場	③交流館やコミュニティセンター	④民間スポーツ施設	⑤自宅、職場	⑥公園、空き地	⑦道路（歩道）等	⑧その他
①ウォーキング	5.4%	0.8%	1.2%	3.0%	13.9%	20.6%	53.3%	1.7%
②ランニング、マラソン、陸上競技	20.3%	4.9%	0.0%	5.4%	5.4%	20.3%	42.4%	1.3%
③野球（硬式、軟式等）、ソフトボール	31.4%	29.2%	1.1%	11.7%	5.3%	19.2%	0.4%	1.5%
④テニス（軟式、ソフト）	58.5%	10.5%	2.6%	19.2%	2.6%	3.1%	0.9%	2.6%
⑤ゴルフ	12.7%	0.6%	0.0%	61.7%	3.9%	1.9%	1.6%	17.5%
⑥グラウンドゴルフ	24.4%	15.7%	7.6%	7.6%	2.3%	40.1%	1.2%	1.2%
⑦サッカー、フットサル	29.1%	26.1%	3.8%	22.2%	5.1%	12.8%	0.9%	0.0%
⑧ラグビー	47.1%	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	17.6%
⑨スケートボード	46.2%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%
⑩体操（ラジオ体操、職場体操等）	3.0%	2.6%	12.6%	5.2%	64.8%	7.4%	2.6%	1.9%
⑪ヨガ、ダンス、筋肉トレーニング	16.3%	2.0%	12.8%	35.2%	26.3%	2.0%	1.4%	4.0%
⑫水泳（競泳、水中ウォーキング等）	44.9%	1.3%	5.7%	38.0%	3.2%	1.9%	2.5%	2.5%
⑬バドミントン	32.5%	31.6%	8.0%	5.1%	9.7%	11.8%	1.3%	0.0%
⑭バレーボール、ソフトバレー	18.2%	54.9%	17.4%	3.4%	3.1%	2.2%	0.3%	0.6%
⑮バスケットボール	29.1%	36.7%	6.3%	3.8%	9.5%	10.8%	3.8%	0.0%
⑯３×３（バスケット）	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
⑰卓球	23.8%	20.4%	29.3%	13.6%	7.5%	1.4%	0.7%	3.4%
⑱武道（柔道、剣道、空手、少林寺拳法等）	22.4%	34.5%	17.2%	9.5%	9.5%	3.4%	0.9%	2.6%
⑲弓道	69.6%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%
⑳アーチェリー	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
㉑フェンシング	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
㉒ボッチャやモルック等のユニバーサルスポーツ	23.8%	38.1%	16.7%	4.8%	9.5%	4.8%	2.4%	0.0%
㉓その他	13.7%	8.1%	7.0%	15.4%	10.9%	7.4%	19.3%	18.2%
㉔全くしない	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑦現在、運動やスポーツをするにあたり、改善できたらよいと思うこと（複数回答）

「仕事、家事、育児が忙しく、運動やスポーツをする時間がない」が最も多くなっています。

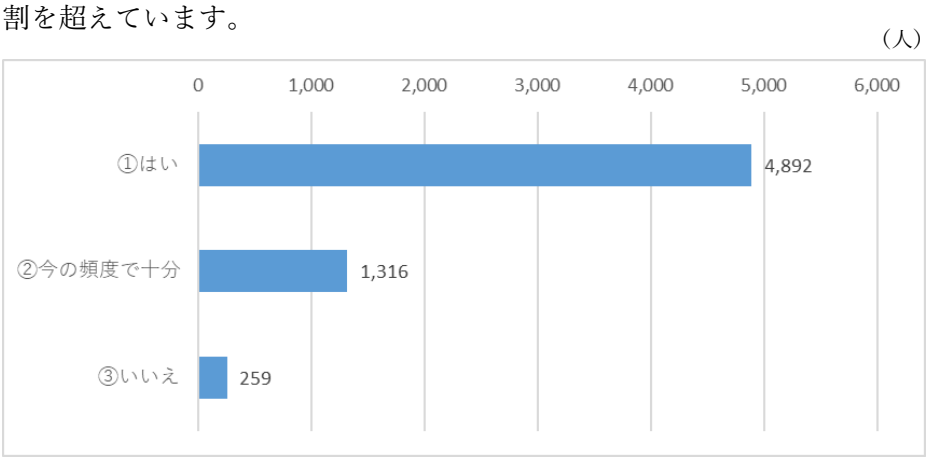


運動やスポーツの実施種目と「実施にあたり改善できたらよいと思うこと」をクロス集計した結果、「運動やスポーツをする時間がない」、「一緒に行う仲間や指導者がいない」などの意見のほか、施設面では、「使いたい時に公共スポーツ施設や学校の体育館、運動場の予約が取りにくい」などの意見がありました。

	①仕事、家事、育児が忙しく、運動やスポーツをする時間がない	②一緒に行う仲間や指導者がいない	③使いたい時に公共スポーツ施設の予約が取りにくい	④使いたい時に学校の体育館や運動場の予約が取りにくい	⑤公共スポーツ施設の個人利用の受付が当日でないとできない	⑥市内に実施できる場所がない	⑦交通手段が限られているため、遠くまで行くことができない	⑧その他	⑨特にない
①ウォーキング	22.8%	14.6%	6.8%	4.0%	4.8%	8.8%	11.7%	3.5%	23.0%
②ランニング、マラソン、陸上競技	20.1%	15.0%	11.3%	5.3%	4.8%	11.3%	9.3%	5.3%	17.8%
③野球（硬式、軟式等）、ソフトボール	16.8%	11.4%	22.2%	14.7%	5.6%	13.9%	3.7%	3.7%	8.1%
④テニス（軟式、ソフト）	13.3%	14.0%	25.1%	6.3%	8.1%	8.5%	3.0%	9.2%	12.5%
⑤ゴルフ	17.3%	15.5%	10.3%	5.2%	4.6%	12.4%	5.4%	3.1%	26.3%
⑥グラウンドゴルフ	7.4%	8.0%	9.9%	7.4%	4.3%	7.4%	21.6%	0.0%	34.0%
⑦サッカー、フットサル	16.9%	7.6%	24.5%	15.5%	8.6%	16.5%	4.0%	2.9%	3.6%
⑧ラグビー	13.6%	9.1%	22.7%	13.6%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	4.5%
⑨スケートボード	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	21.4%	14.3%	21.4%	7.1%
⑩体操（ラジオ体操、職場体操等）	27.7%	19.4%	7.1%	3.4%	4.3%	5.1%	12.0%	1.4%	19.4%
⑪ヨガ、ダンス、筋肉トレーニング	24.3%	15.2%	10.8%	3.1%	6.0%	7.4%	9.6%	4.4%	19.2%
⑫水泳（競泳、水中ウォーキング等）	19.6%	14.1%	12.6%	5.0%	7.0%	14.6%	7.5%	6.0%	13.6%
⑬バドミントン	19.0%	12.1%	24.2%	13.1%	13.8%	4.5%	4.2%	2.8%	6.2%
⑭バレーボール、ソフトバレーボール	16.9%	13.4%	22.1%	19.9%	8.7%	5.0%	2.2%	3.5%	8.2%
⑮バスケットボール	8.4%	10.1%	27.4%	24.0%	10.1%	12.8%	2.2%	2.2%	2.8%
⑯３×３（バスケット）	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑰卓球	9.1%	11.9%	20.3%	11.9%	11.2%	3.5%	6.3%	2.1%	23.8%
⑱武道（柔道、剣道、空手、少林寺拳法等）	16.1%	8.9%	18.8%	17.9%	9.8%	6.3%	5.4%	3.6%	13.4%
⑲弓道	13.0%	0.0%	17.4%	0.0%	0.0%	13.0%	8.7%	30.4%	17.4%
⑳アーチェリー	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%
㉑フェンシング	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
㉒ボッチャやモルック等のユニバーサルスポーツ	25.5%	12.8%	12.8%	4.3%	6.4%	6.4%	8.5%	4.3%	19.1%
㉓その他	16.1%	14.4%	10.4%	5.7%	4.3%	13.4%	5.0%	10.7%	20.1%
㉔全くしない	38.7%	19.2%	5.8%	3.7%	3.3%	4.6%	7.9%	3.1%	13.6%

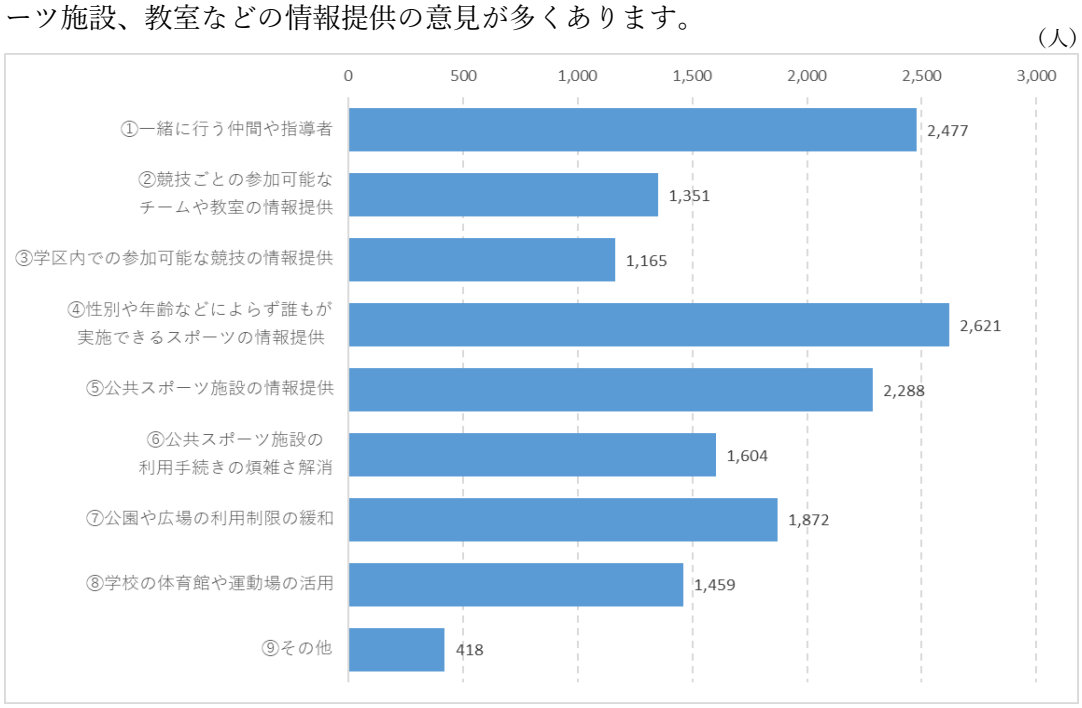
⑧今後、運動やスポーツをする機会を増やしたいか

今後、運動やスポーツをする機会を増やしたいかについては、「はい」と答えた人が全体の７割を超えています。



⑨今後、運動やスポーツを続ける、又は始めるために必要なことは

「性別や年齢によらず誰もができるスポーツの情報の提供」が最も多く、そのほか公共スポーツ施設、教室などの情報提供の意見が多くあります。



■自由記載（主な意見等）

①施設について

《体育館》

・エアコン設備のある体育館を増やして欲しい

・西部地域に最低でもバレーボールが 2 面とれる体育館が欲しい

《野球場》

・野球場を増設して欲しい（市民球場含む）

・トイレの改修をして欲しい

《陸上競技場》

・陸上競技場が老朽化しており、建替えて欲しい

・トイレの改修をして欲しい

《サッカー場》

・人工芝のサッカー場を作って欲しい

《弓道場》

・弓道の遠的場は、市内や備後圏内にないので切望します

・弓道場の施設老朽化のため、新しくして欲しい

《水泳場》

・年中使用可能な屋内プールが欲しい

《庭球場》

・オムニコートの整備をして欲しい

《その他》

・バスケットゴールを設置して欲しい

・バスケットリングのある公園を増やして欲しい
・北部地域へスポーツ施設を整備して欲しい
・小学校体育館の利用改善や冷房設備を設置して欲しい
・コミュニティセンター体育室の予約が取りづらい

②施設予約、使用料金について
・特定の団体が継続的に利用予約しており、使いづらい時がある
・インターネットで空き状況を確認して簡単に施設予約できるようにして欲しい
・利用料金を安くして欲しい

③その他
・公共スポーツ施設の情報提供
・スポーツ教室やイベントの開催及び情報提供をして欲しい
・もっとプロ選手の試合を観戦できる機会が欲しい
・公園や広場の利用制限の緩和

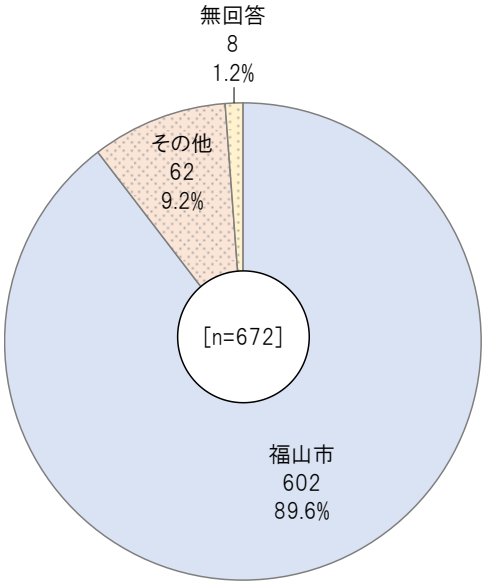
(2) スポーツ施設利用者アンケート

■実施概要

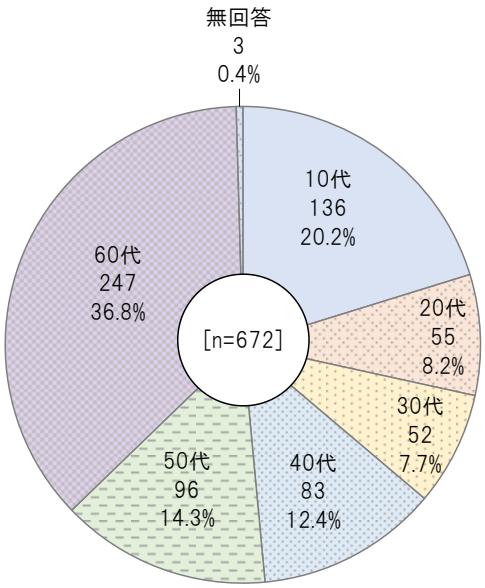
調査目的	スポーツ施設利用者のスポーツに対するニーズや満足度を把握するためアンケートを実施
調査対象	市内スポーツ施設利用者
調査期間	2024 年（令和 6 年）1 月 18 日から 2 月 29 日まで
調査方法	各施設の窓口にて施設利用者に対してアンケート調査を配布し、その場で回収
回答者数	672 人

■アンケート結果

①居住地



②年齢

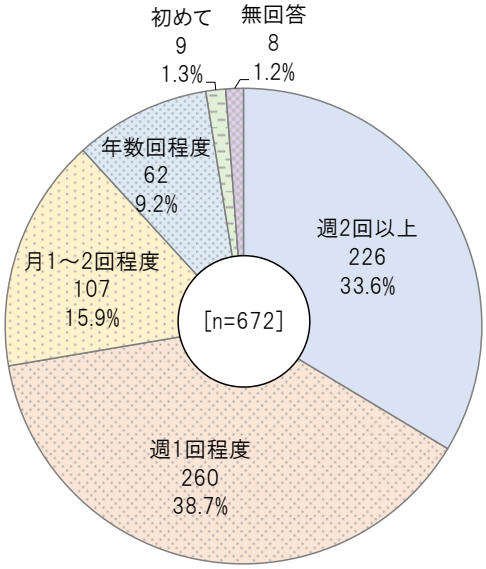


③利用施設

施設名	回答数（人）	割合（%）
体育館	325	48.4
野球場・運動場・陸上競技場・サッカー場	41	6.1
グラウンド・ゴルフ場	39	5.8
弓道場	102	15.2
水泳場	49	7.3
庭球場	114	17.0
不明な施設	2	0.3

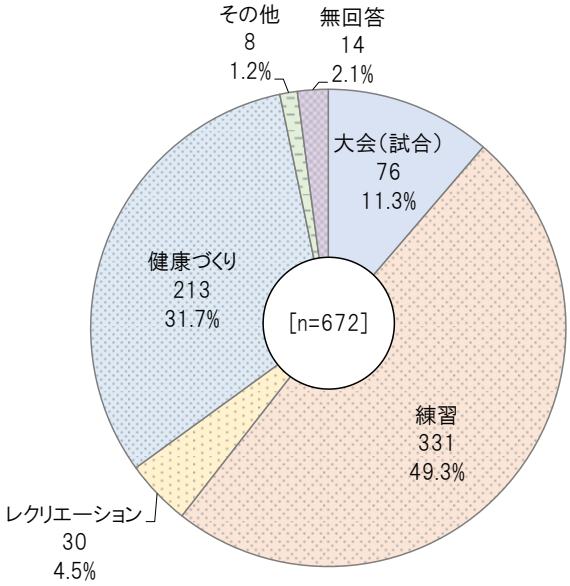
④利用する施設の利用頻度

「週 1 回程度」が 260 人（38.7%）と最も多く、次いで「週 2 回以上」が 226（人 33.6%）、「月 1～2 回程度」が 107 人（15.9%）となっています。



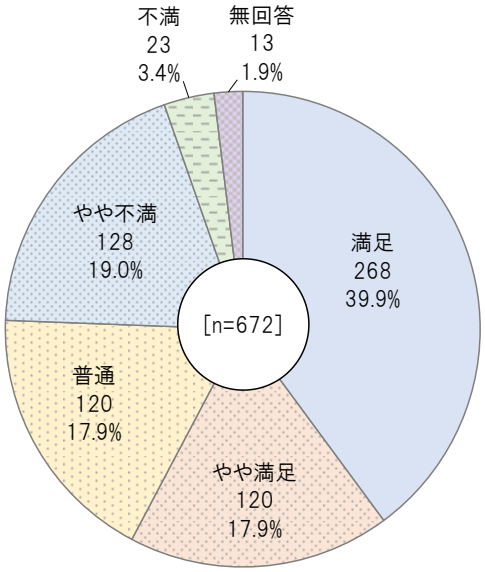
⑤利用目的について

「練習」が 331 人（49.3%）と最も多く、次いで「健康づくり」が 213 人（31.7%）」、大会（試合）」が 76 人（11.3%）となっています。



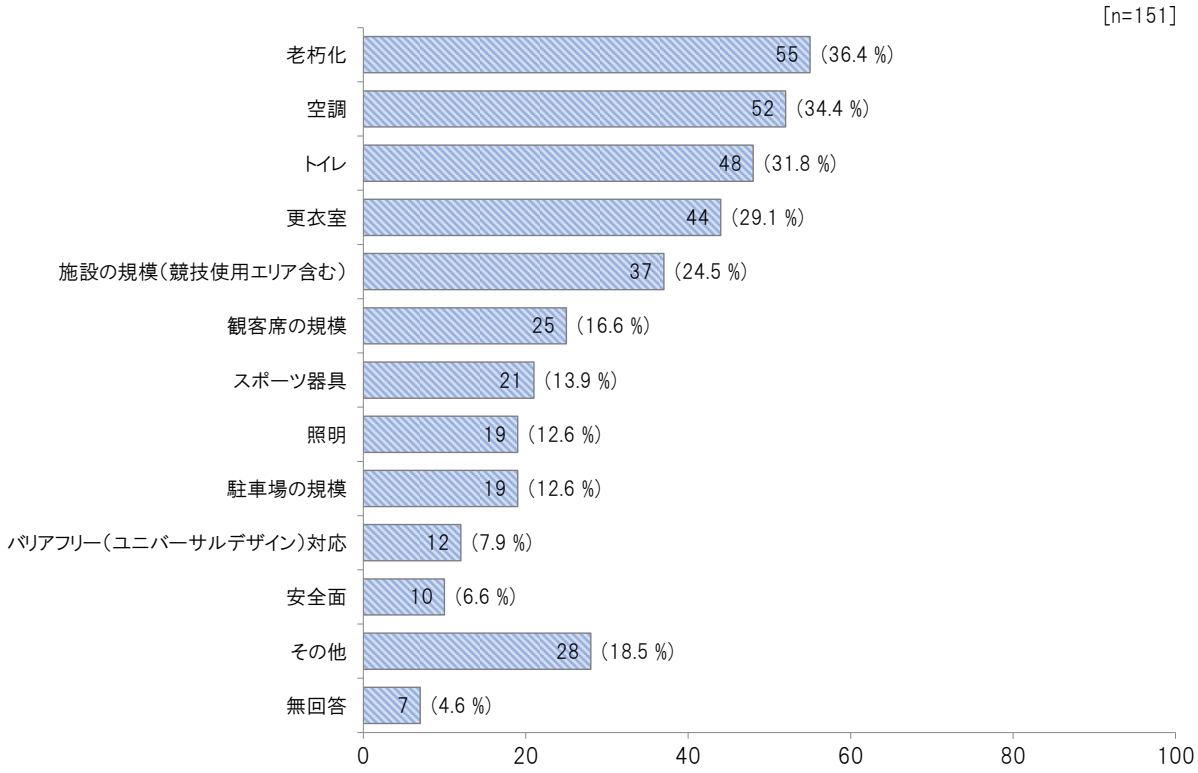
⑥満足度について

「満足」「やや満足」が 388 人（57.8%）、また、「やや不満」「不満」は 151 人（22.4%）となっています。



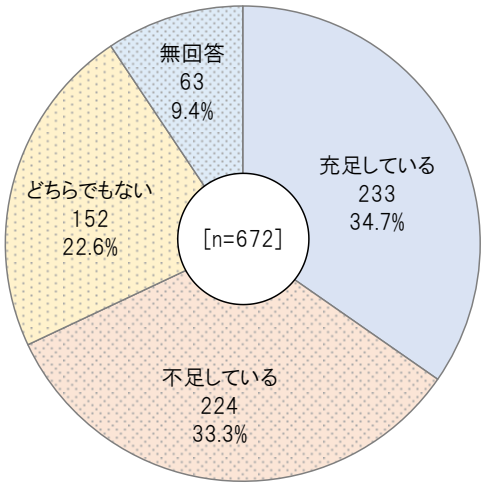
⑦「やや不満」「不満」と回答した人の内容について

「老朽化」が 55 人（36.4%）と最も多く、次いで「空調」が 52 人（34.4%）」、「トイレ」が 48 人（31.8%）となっています。



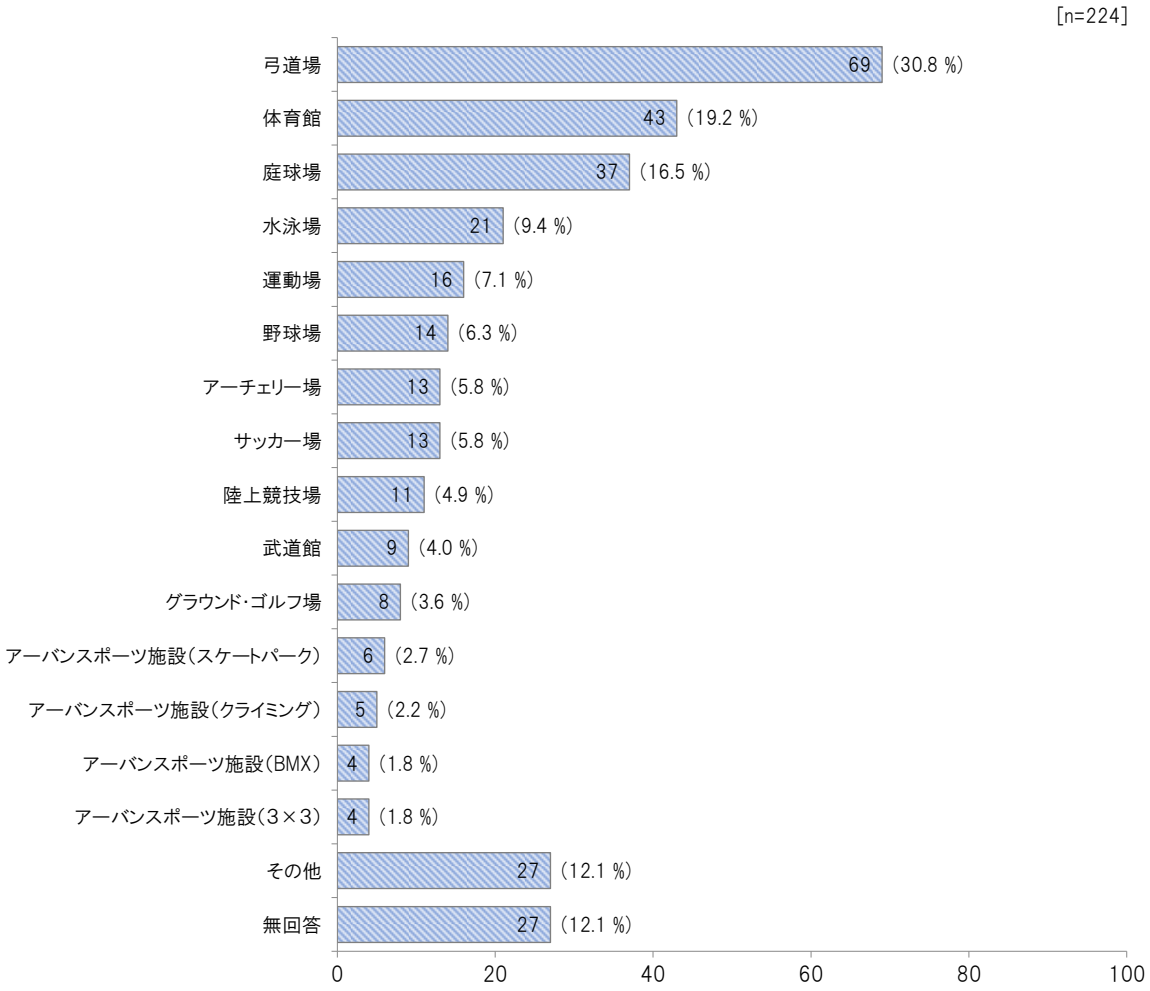
⑧スポーツ施設の充足度について

「充足している」が 233 人（34.7%）と最も多く、次いで「不足している」が 224 人（33.3%）となっています。



⑨「不足している」と回答した人が不足していると思う施設、又は、今後、整備が必要と思う施設について

「弓道場」が 69 人（30.8%）と最も多く、次いで「体育館」が 43 人（19.2%）、「庭球場」が 37 人（16.5%）となっている。



■自由記載（主な意見等）

①施設について

《体育館》

・卓球台やネット等の備品を充実して欲しい

《野球場》

・中核都市として野球場といえるのが市民球場１つしかない

《運動場》

・ソフトボールグラウンドが欲しい

《弓道場》

・弓道場を増やして欲しい

・遠的・近的が両方できる新しい弓道場を整備して欲しい

・弓道の遠的場とアーチェリー場を兼ねるなど、複合的に利用できる施設を作ればよい

《水泳場》

・プールの数を増やして欲しい

《庭球場》

・ハードコートの整備をして欲しい

・テニスコートを増やして欲しい

・福山テニスセンターの不陸を解消して欲しい

《その他》

・立地条件の良い場所に施設を建設して欲しい

・北部地域へスポーツ施設を整備して欲しい

・夜間照明をＬＥＤ化して欲しい

・駐車場を増設・拡張して欲しい

・月曜日と年末年始を開館して欲しい

・トイレの改修をして欲しい

・アーバンスポーツ施設が欲しい

②施設予約、使用料金について

・施設予約をインターネットでできるようにして欲しい

・インターネット予約時間帯の見直しをして欲しい

・使用料が安いのはとても良い

・使用料が他の市町村に比べて高い

・駐車料金を無料にして欲しい

③その他

・学校以外での部活動の活動場所がないためもう少し増やして欲しい

・プロの試合を観戦できる機会が欲しい

(3) 各種団体等へのヒアリング

【競技団体】

■実施概要

目的	競技団体におけるスポーツ施設の利用状況や要望、今後のスポーツ施設に対する意見を把握するためヒアリングを実施
実施団体	福山市軟式野球連盟、福山市ソフトテニス連盟、福山市テニス協会、 福山市卓球協会、福山地区ソフトボール協会、福山バレーボール協会、 福山市柔道連盟、福山市剣道連盟、福山市体操協会、福山市バドミントン協会、 福山サッカー協会、福山市ラグビーフットボール協会、福山市陸上競技協会、 福山市フェンシング協会、福山市空手道連盟、福山市弓道連盟、 広島県アーチェリー協会福山支部、福山バスケットボール協会、 福山市グラウンド・ゴルフ協会（19 団体）
期間	2024 年（令和 6 年）1 月から 2025 年（令和 7 年）1 月まで随時実施
方法	対面で実施

■主な意見

《体育館》

・大きな大会では、エフピコアリーナやローズアリーナを使用しているが、希望の半分程度しか取れない
・ローズアリーナは広さ的には申し分ないが、卓球台が数台しかないため大会が開催できない
・ローズアリーナの床が破損しており、張替を希望。ラインの関係で 16 面とれるが、12 面しかとれない。ポール等の備品が老朽化している
・大会時は専用のマットが必要であるが、ローズアリーナにないため大規模大会が開催できない
・沼隈体育館、神辺体育館は空調がないため、夏場は熱中症の危険がある
・沼隈体育館、神辺体育館に空調を設置した際、卓球やバドミントンの試合に影響がある
・練習会場の確保が難しいため、小中学校体育館の利用状況を可視化できたらありがたい

《野球場》

・野球場を様々な団体が利用している。特定の団体が独占的に利用している施設もある
・大会可能な球場が多いため、市外・県外チームを誘致して大きな大会を開催できる
・トイレの大半が和式であるため改修して欲しい
・側溝が詰まっているため、定期的に手入れして欲しい
・箕沖球場について頻繁に大会を開催しているが、フェンスが低く、自動車にボールがぶつかる事案が起こっている
・箕沖球場がほぼ毎週土日、競技団体が予約している
・みつぎソフトボール球場は、専用球場が 5 球場あり、全国大会も開催されている。専用球場は備後圏域で唯一

《陸上競技場》

・バックストレートを整備して、110mハードルの大会ができるようにして欲しい

・施設が老朽化しているため、２階トイレの出入口に扉がないので改修して欲しい

《サッカー場》

・コートが 2～3 面取れる施設が竹ケ端多目的しかないため、市内でなかなか開催できない

・陸上競技場は予約が取りにくい

《弓道場》

・遠的は、県内では安芸高田市と呉市のみのため、大会はいずれかで開催。また、練習は呉市又は井原市へ通っている

・福山市は競技レベルも高く、競技人口も多い。大規模な大会が開催できる施設を建設して欲しい

・竹ケ端で大会を開催する際、控室や更衣室（男子用）がなく、雨が降った際、非常に困る

【各学区体育会】

■実施概要

目　　的	各学区体育会におけるスポーツ環境に係る意見等を把握するため、意見交換会を実施
対象学区	市内 76 学区
実施期間	2024 年（令和 6 年）2 月 1 日から 2 月 14 日まで
実施方法	市内 6 ブロックに分けて開催

■主な意見

①施設の増設・充実・不足について

・小学校のグラウンドや体育館を利用しており、特に問題はない

・小学校体育館に空いている曜日がない

・ソフトボールができる規模のグラウンドが学区内にない

・小学校の体育館しかないため場所の取り合いとなる

・コミュニティセンターの老朽化が進み、体育室を使用できなくなると活動ができるか心配である

・西部地区へ体育館の整備

②施設の機能充実について

・屋外施設のトイレの洋式化

・小学校体育館への空調設備の設置

③施設予約について

・体育館の個人利用の申し込み可能日の前倒し

④利用料金

・学区が体育館を利用する時に使用料を安くして欲しい

福山市スポーツ施設再整備計画

2025 年（令和 7 年）12 月

福山市市民局まちづくり推進部スポーツ振興課

〒720－8501　福山市東桜町 3 番 5 号

電話：084－928－1293　FAX：084－928－1229

E メール：sports-shinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp